

# MITSUBISHI ELECTRIC

## 三菱電機 パッケージエアコン (R410A 対応) 設備用インバーターエアコン

形名

空冷ヒートポンプ形  
標準タイプ<床置形>

PFHV-P224,280DMJ

オールフレッシュタイプ<床置形>

PFHV-P265,335DMJ-F

## 取扱説明書

冷媒 R410A

もくじ	
安全のために必ず守ること	2
1. 各部の名称	6
1-1. 各部のなまえ	6
1-2. 付属品	6
2. ご使用の前に	7
2-1. 使用上のお願い	7
2-2. 各種運転について	8
3. 使用方法	9
3-1. リモコンの操作について	9
3-2. その他の操作について	39
4. お手入れ	45
5. 定期点検のお願い	47
6. 修理を依頼する前に	49
7. 保証とアフターサービス	52
7-1. 保証について	52
7-2. 補修用性能部品の保有期間	52
7-3. 修理について	52
7-4. 移設について	53
7-5. お問い合わせ	53
8. 環境関連の表示	54
9. 法令関連の表示	55
9-1. 機器予防保全の目安	55
9-2. 消耗部品の点検周期目安	55
10. 仕様	56
11. 別売部品	57

- ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
- 「取扱説明書」は大切に保管してください。
- 添付別紙の「三菱電機 修理窓口・ご相談窓口のご案内」は大切に保管してください。
- お客様ご自身では据付けしないでください。(安全や機能の確保ができません。)
- この製品は、日本国内用に設計されていますので、国外では使用できません。また、アフターサービスもできません。  
This appliance is designed for use in Japan only and the contents in this document cannot be applied in any other country. No servicing is available outside of Japan.

# 安全のために必ず守ること

- この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ、取り扱ってください。
- ここに記載した注意事項は、安全に関する重要な内容です。必ずお守りください。



## 警告

取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度



## 注意

取扱いを誤った場合、使用者が軽傷を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度

- 図記号の意味は次のとおりです。



(一般禁止)



(接触禁止)



(水ぬれ禁止)



(ぬれ手禁止)



(一般注意)



(破裂注意)



(感電注意)



(高温注意)



(回転物注意)



(一般指示)

- お読みになったあとは、お使いになる方に必ず本書をお渡しください。
- お使いになる方は、本書をいつでも見られるところに大切に保管してください。移設・修理の場合、工事をされる方にお渡しください。また、お使いになる方が代わる場合、新しくお使いになる方にお渡しください。

## 一般事項

### 警告

当社指定の冷媒以外は絶対に封入しないこと。

- 使用時・修理時・廃棄時などに、破裂・爆発・火災のおそれあり。
  - 法令違反のおそれあり。
- 封入冷媒の種類は、機器付属の説明書・銘板に記載し指定しています。
- 指定冷媒以外を封入した場合、故障・誤作動などの不具合・事故に関して当社は一切責任を負いません。



禁止

冷やし過ぎないこと。

- 冷やし過ぎた場合、体調悪化や健康障害、食品劣化のおそれあり。



使用禁止

吹出し風を身体に直接当てないこと。

- オールフレッシュタイプの場合、外気を直接吹き出す。外気温度によって、体調悪化や健康障害、食品劣化のおそれあり。



使用禁止

特殊環境では、使用しないこと。

- 油・蒸気・有機溶剤・腐食ガス（アンモニア・硫黄化合物・酸など）の多いところや、酸性やアルカリ性の溶液・特殊なスプレーなどを頻繁に使うところで使用した場合、著しい性能低下・腐食による冷媒漏れ・水漏れ・けが・感電・故障・発煙・火災のおそれあり。



使用禁止

吹き出しの風が直接あたる所に燃焼器具を置かないこと。

- 燃焼器具が不完全燃焼を起こし、酸素欠乏・一酸化炭素中毒のおそれあり。



使用禁止

安全装置・保護装置の改造や設定変更をしないこと。

- 圧力開閉器・温度開閉器などの保護装置を短絡して強制的に運転を行った場合、破裂・発火・火災・爆発のおそれあり。
- 設定値を変更して使用した場合、破裂・発火・火災・爆発のおそれあり。
- 当社指定品以外のものを使用した場合、破裂・発火・火災・爆発のおそれあり。



変更禁止

コントローラの据付・点検・修理をする前に周囲の安全を確認し、子どもを近づけないこと。

- 工具などが落下すると、けがのおそれあり。



禁止

ヒューズ交換時は、指定容量のヒューズを使用し、針金・銅線で代用しないこと。

- 発火・火災のおそれあり。



使用禁止

**ユニットを水・液体で洗わないこと。**

- ◆ショート・漏電・感電・故障・発煙・発火・火災のおそれあり。



水ぬれ禁止

**電気部品に水をかけないこと。**

- ◆ショート・漏電・感電・故障・発煙・発火・火災のおそれあり。



水ぬれ禁止

**ぬれた手で電気部品に触れたり、スイッチ・ボタンを操作したりしないこと。**

- ◆感電・故障・発煙・発火・火災のおそれあり。



ぬれ手禁止

**フィルター清浄・交換など高所作業時は足元に注意すること。**

- ◆落下・転倒し、けがのおそれあり。



足元注意

**アルコール消毒した場合、周囲に充滿するアルコールガスを換気して取り除くこと。**

- ◆ガスを取り除かずに電源を入れた場合、引火・爆発するおそれあり。  
(本製品は防爆仕様ではありません)



爆発注意

**掃除・整備・点検をする場合、運転を停止して、主電源を切ること。**

- ◆けが・感電のおそれあり。
- ◆ファン・回転機器により、けがのおそれあり。



感電注意

**運転中および運転停止直後の冷媒配管・冷媒回路部品に素手で触れないこと。**

- ◆冷媒は、循環過程で低温または高温になるため、素手で触れると凍傷・火傷のおそれあり。



やけど注意

**注意**

**ユニットの近くに可燃物を置いたり、可燃性スプレーを使用したりしないこと。**

- ◆引火・火災・爆発のおそれあり。



使用禁止

**殺虫剤・可燃性スプレーなどを製品の近くに置いたり、直接吹付けないこと。**

- ◆変形・引火・火災・爆発のおそれあり。



使用禁止

**パネルやガードを外したまま運転しないこと。**

- ◆回転機器に触れると、巻込まれてけがのおそれあり。
- ◆高電圧部に触れると、感電のおそれあり。
- ◆高温部に触れると、火傷のおそれあり。



使用禁止

**室内温度を管理すること。**

- ◆オールフレッシュタイプの場合、停止時でも外気が流入する。外気温度によって、体調悪化や健康障害、食品劣化のおそれあり。



指示を実行

**換気をよくすること。**

- ◆冷媒が漏れた場合、酸素欠乏のおそれあり。
- ◆冷媒が火気に触れた場合、有毒ガス発生のおそれあり。



換気を実行

**換気をよくすること。**

- ◆燃焼器具を使用した場合、不完全燃焼を起こし、酸素欠乏・一酸化炭素中毒のおそれあり。



換気を実行

**異常時（こげ臭いなど）は、運転を停止して電源スイッチを切ること。**

- ◆お買い上げの販売店・お客様相談窓口にご連絡すること。
- ◆異常のまま運転を続けた場合、感電・故障・火災のおそれあり。



指示を実行

**端子箱や制御箱のカバーまたはパネルを取り付けること。**

- ◆ほこり・水による感電・発煙・発火・火災のおそれあり。



指示を実行

**基礎・据付台が傷んでいないか定期的に点検すること。**

- ◆ユニットの転倒・落下によるけがのおそれあり。



指示を実行

**ユニットの廃棄は、専門業者に依頼すること。**

- ◆ユニット内に充てんした油や冷媒を取り除いて廃棄しないと、環境破壊・火災・爆発のおそれあり。



指示を実行

**ユニットの上に乗ったり物を載せたりしないこと。**

- ◆ユニットの転倒や載せたものの落下によるけがのおそれあり。



使用禁止

**食品・動植物・精密機器・美術品の保存など特殊用途には使用しないこと。**

- ◆保存品が品質低下するおそれあり。



使用禁止

**吹き出しの風が直接あたる所に動植物を置かないこと。**

- ◆悪影響のおそれあり。



使用禁止

**運転停止後、すぐにユニットの電源を切らないこと。**

- ◆運転停止から5分以上待つこと。
- ◆ユニットが故障し、水漏れにより家財がめれるおそれあり。



禁止

**ぬれて困るものを下に置かないこと。**

- ◆ユニットからの露落ちにより、ぬれるおそれあり。



据付禁止

**部品端面・ファンや熱交換器のフィン表面を素手で触れないこと。**

- ◆けがのおそれあり。



接触禁止

**水の入った容器を製品などの上に乗せないこと。**

- ◆水がこぼれた場合、ショート・漏電・感電・故障・発煙・発火・火災のおそれあり。



水ぬれ禁止

**フィルターを取り外す場合、保護具を身につけること。**

- ◆ホコリが目に入り、けがのおそれあり。



ホコリ注意

**保護具を身に付けて操作すること。**

- ◆主電源を切っても数分間は充電された電気が残っている。触れると感電のおそれあり。



感電注意

**電気部品を触るときは、保護具を身に付けること。**

- ◆高温部に触れると、火傷のおそれあり。
- ◆高電圧部に触れると、感電のおそれあり。



けが注意

**空気の吹出口や吸込口に指や棒などを入れないこと。**

- ◆ファンによるけがのおそれあり。



回転物注意

**作業するときには保護具を身につけること。**

- ◆けがのおそれあり。



けが注意

**フィルターの点検・清掃は専門業者がすること。**

- ◆けがのおそれあり。



指示を実行

**販売店または専門業者が定期的に点検すること。**

- ◆ユニットの内部にゴミ・ほこりがたまった場合、ドレン排水経路が詰まり、水漏れにより家財がぬれるおそれあり。
- ◆においが発生するおそれあり。



指示を実行

## 配管工事をするときに

### 警告

**サービスバルブを操作する場合、冷媒噴出に注意すること。**

- ◆冷媒が漏れた場合、冷媒を浴びると、凍傷・けがのおそれあり。
- ◆冷媒が火気に触れた場合、有毒ガス発生のおそれあり。



冷媒注意

## 移設・修理をするときに

### 警告

**改造はしないこと。ユニットの移設・分解・修理は販売店または専門業者に依頼すること。**

- ◆冷媒漏れ・水漏れ・けが・感電・火災のおそれあり。



禁止

**雨天の場合、サービスはしないこと。**

- ◆ショート・漏電・感電・故障・発煙・発火・火災のおそれあり。



水ぬれ禁止

**分解・修理をした場合、部品を元通り取り付けること。**

- ◆不備がある場合、けが・感電・火災のおそれあり。



指示を実行

### 注意

**基板に手・工具で触れたり、ほこりを付着させたりしないこと。**

- ◆ショート・感電・故障・火災のおそれあり。



接触禁止

## お願い

据付・点検・修理をする場合、適切な工具を使用してください。

♦ 工具が適切でない場合、機器損傷のおそれあり。

運転を開始する 12 時間以上前に電源を入れてください。

♦ ユニット運転期間中は電源を切らないこと。故障のおそれあり。

ユニット内の冷媒は回収し、規定に従って廃棄してください。

♦ 法律（フロン排出抑制法）によって罰せられます。

ユニットの使用範囲を守ってください。

♦ 範囲外で使用した場合、故障のおそれあり。

吹出口・吸込口を塞がないでください。

♦ 風の流れを妨げた場合、能力低下・故障のおそれあり。

エアフィルターを外した状態で運転しないでください。

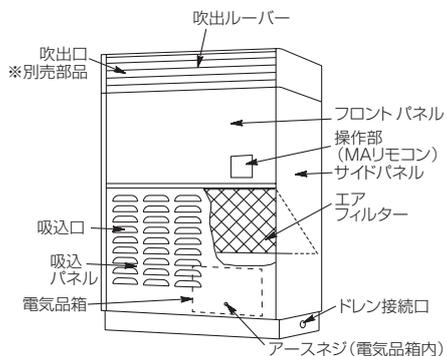
♦ ユニット内部にゴミが詰まり、故障のおそれあり。

# 1. 各部の名称

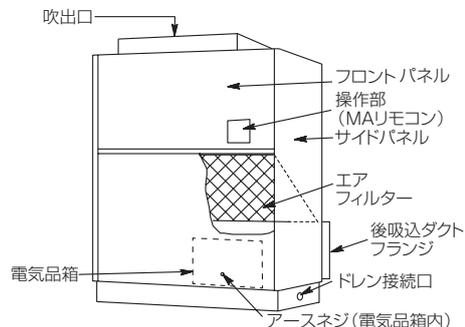
## 1-1. 各部のなまえ

### [1] 室内ユニット

PFAV-P224DMJ, PFAV-P280DMJ

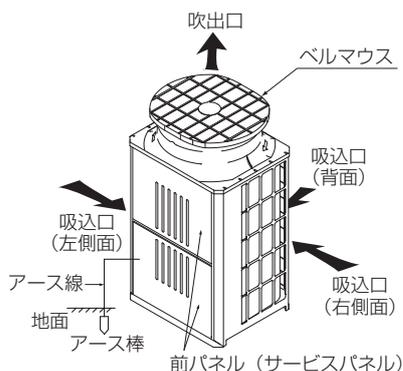


PFAV-P265DMJ-F, PFAV-P335DMJ-F



### [2] 室外ユニット

PUHV-P224DMJ(-BS,BSG),  
PUHV-P280(S)DMJ(-BS,BSG)



## 1-2. 付属品

本製品には下記部品が付属しておりますので据付前に確認してください。

機種	付属品	個数	付属場所	外形
PFAV-P224・280DMJ PFAV-P265・335DMJ-F	付属配管 (ガス)	1	ユニット内部 (ドレンパン上)	
PFAV-P224・280DMJ PFAV-P265・335DMJ-F	付属配管 (液)	1	ユニット内部 (ドレンパン上)	

## 2. ご使用の前に

- お客様ご自身では据付けないでください。(安全や機能の確保ができません。)
- 本製品の据付工事は、販売店(工事店)が関連法規・資格に基づき実施しております。
- 据付工事完了後、販売店が試運転を行いますので、立ち会ってください。
- 専門業者による据付工事が終了後、使用者立会いのもとで試運転の実施と安全を確保するための正しい使い方の説明を受けてください。
- 据付工事説明書のチェックリストを受け取ってください。

### 2-1. 使用上のお願い

#### ⚠ 警告

##### 吹出し風を身体に直接当てないこと。

- オールフレッシュタイプの場合、外気を直接吹き出す。外気温度によって、体調悪化や健康障害、食品劣化のおそれあり。



使用禁止

##### 室内温度を管理すること。

- オールフレッシュタイプの場合、停止時でも外気が流入する。外気温度によって、体調悪化や健康障害、食品劣化のおそれあり。



指示を実行

#### お願い

ユニット側面の外気取入口より外気を導入する場合は、外気取入量を全体風量の10%以下としてください。

##### ※オールフレッシュタイプの場合

室内ユニットに一次処理しない外気を直接取り入れる場合、厳冬期に吸込口周辺が結露し、露が落ちる場合があります。このような場合は、室内ユニット周囲に防水処理を施すなどの処置をとってください。

#### お願い

ユニット背面の吸込ダクトフランジより室内空気と混合した外気を導入する場合は、十分混合すると共に「運転温度範囲のめやす」の室内側吸込空気の温度になるまで一次処理してください。

“インバーターエアコン”を上手に正しくお使いいただき、快適な室内環境をお作りください。

- 1) 室内温度(室温)は最適にしてください。
  - 冷房運転では室内と室外の温度差を5℃以内にするのが最適です。
  - 冷やし過ぎは健康にもよくありません。電力のムダ使いにもなります。たとえば冷房のとき設定温度を1℃上げると約10%の電力が節約できます。
- 2) 冷房時は熱の侵入を少なくしてください。
  - 冷房時直射日光の当たる窓にはブラインド、カーテンをひくなどして熱の侵入を少なくしてください。
  - 出入口は必要なとき以外は開けないようにしてください。
- 3) 長時間直接お肌に風をあてないでください。
  - 長時間エアコンの風が直接身体にあると体調を悪くしたり、健康障害の原因となります。
  - 特に赤ちゃんや子供は大人に比べて敏感です。エアコンの風を直接肌にあてないでください。
- 4) フィルターの清掃をしてください。
  - フィルターの目詰まりは風の流れを悪くし、冷房・暖房能力が落ちます。電力のムダ使いとなります。また露付・露たれの原因にもなります。
  - フィルターは通常的环境下では45ページに記載の時間ごとおよびシーズンの始めと終わりに清掃してください。
  - 操作部(MAリモコン)は、フィルターサイン表示が可能です。
- 5) 室内の温度ムラ解消に風向調節をしてください。
  - 冷房時、肩などに直接風が当たり体調を悪くすることがあります。冷たい空気は重たいので水平吹き出しなどにして、上方から冷やすよう風向を調節してください。
  - 暖房時、足元が寒いのは、冷たい空気は重たいので床の近くに溜まるからです。下吹き出しなどにして風向を調節してください。

6) ときどき換気をしてください。

- ・長時間、閉め切った部屋では空気が汚れますので、ときどき換気が必要です。
- ・送風運転は、お部屋の空気を循環させるはたらきをします。
- ・冷房・暖房運転をしない中間期に換気扇との連動運転をしますと、より効果的な換気ができます。当社“ロスナイ換気扇”を利用しますとムダのない換気ができます。

7) 使用温度範囲について

- ・使用温度の範囲から外れたところで使用しますと、機器が異常停止したり、重大な事故の原因となります。

■標準

冷房

	室内側吸込空気	室外側吸込空気
乾球温度	—	- 15 ~ 43℃
湿球温度	10 ~ 25℃	—

暖房

	室内側吸込空気	室外側吸込空気
乾球温度	14 ~ 30℃	—
湿球温度	—	- 20 ~ 15.5℃

※ 露点温度 23℃以上で長時間運転されますと、室内ユニットの結露水が水漏れに至るおそれがあります。

■オールフレッシュタイプ

冷房

	室内側吸込空気	室外側吸込空気
乾球温度	—	15 ~ 43℃
湿球温度	10 ~ 35℃	—

暖房

	室内側吸込空気	室外側吸込空気
乾球温度	- 3 ~ 25℃ ※ 1	—
湿球温度	—	- 4 ~ 22℃ ※ 2

※ 1 室内側吸込空気温度が 5℃以下の場合には、加湿器凍結防止のため、強制的に暖房運転することがあります。

※ 2 室内ユニット吸込空気を - 3℃以上となるように一次処理する場合は、室外側吸込空気湿球温度 - 20 ~ 22℃での運転が可能です。

## 2-2. 各種運転について

1) 暖房運転について

- ・運転を停止しても風が出る：運転停止後約 1 分間、室内ユニット内の余熱を排熱するために室内ファンがまわります。

2) 送風運転について

- ・送風運転は、お部屋の空気を循環させる働きをします。換気装置との連動運転を行うと、より効果的な換気ができます。

3) 換気連動運転について

- ・エアコンの運転を開始すると、自動的に換気装置も運転を開始し、室内空気と新鮮な外気とを混合させ、より効果的な換気を行うものです。

4) 霜取運転（霜取中）について

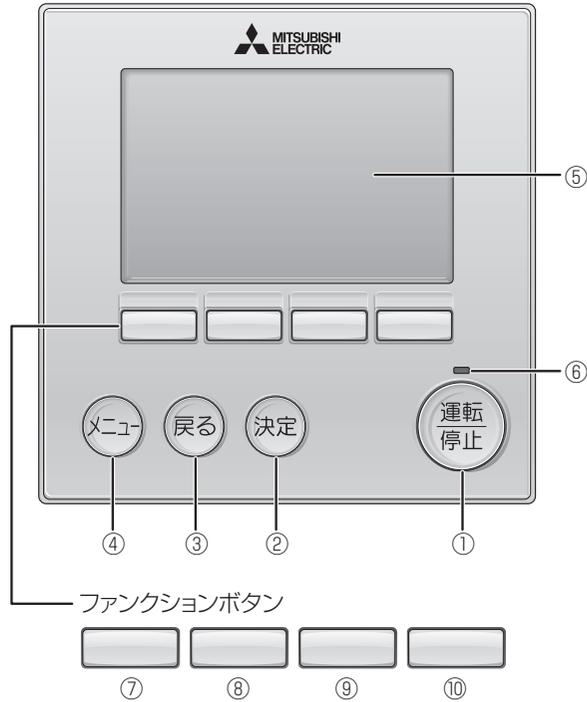
- ・外気温度が低く、湿度が高いときに室外ユニットに霜が付きます。この霜を溶かす運転を行っているときに表示します。霜取運転は約 7 分程度（最大 12 分）で終わります。
  - ・霜取運転を行っているときは、室内ユニットの熱交換器が冷たくなりますので、送風機を停止しています。
- ※ 設定により霜取中も送風機が運転することがあります。設定についてはお買い上げの販売店にご相談ください。

# 3. 使用方法

## 3-1. リモコンの操作について

# 各部の名前とはたらき

### 操作部



#### ① [運転/停止] ボタン

1 度押すと運転し、もう 1 度押すと停止します。

#### ② [決定] ボタン

設定の決定をします。

#### ③ [戻る] ボタン

前の画面に戻ります。

#### ④ [メニュー] ボタン

16 ページ

メインメニューを表示します。  
メインメニュー画面表示時はメイン画面に戻ります。

#### ⑤ 液晶表示部 (バックライト付)

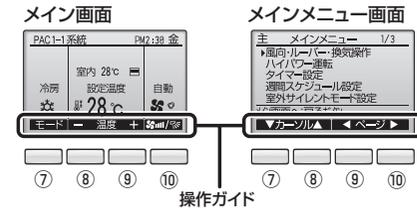
運転内容を表示します。  
バックライト消灯中にボタン操作すると、バックライトが点灯します。一定時間ボタン操作が行われないと自動的に消灯します。バックライトの点灯時間は画面により異なります。

バックライトが消えている状態での最初のボタン操作は効きません。  
バックライトのみ点灯します。  
〔運転/停止〕ボタンは除く)

#### ⑥ 運転ランプ

運転中、緑色に点灯します。  
立上げ時・異常時は点滅します。

ファンクションボタンは操作する画面によって動作が変わります。  
液晶表示下部の操作ガイドにしたがって操作してください。  
集中管理中、操作ロックにより操作が禁止されている項目に対応する操作ガイドは表示されません。



#### ⑦ ファンクションボタン [F1]

メイン画面：運転モードを切替えます。  
メインメニュー画面：カーソルが下に移動します。

#### ⑧ ファンクションボタン [F2]

メイン画面：設定温度を下げます。  
メインメニュー画面：カーソルが上に移動します。

#### ⑨ ファンクションボタン [F3]

メイン画面：設定温度を上げます。  
メインメニュー画面：前のページを表示します。

#### ⑩ ファンクションボタン [F4]

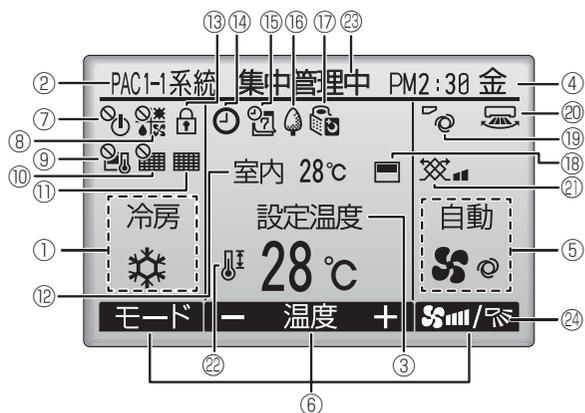
メイン画面：風速を切替えます。  
メインメニュー画面：次のページを表示します。

## 表示部

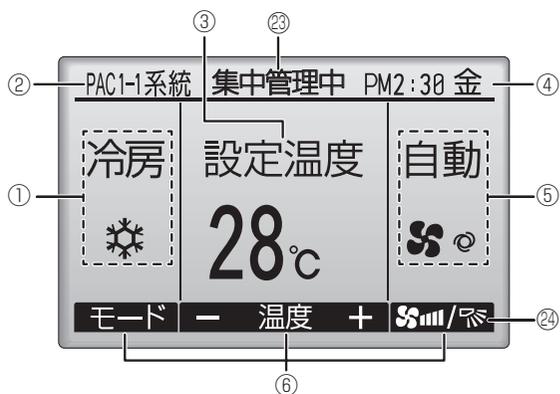
メイン画面の表示には、「詳細」と「簡易」の2種類があります。  
出荷時は詳細表示となっています。  
簡易画面への切換えは「メイン画面表示設定」で変更します。(30 ページ参照)

## 詳細画面

※説明のためすべてのアイコンを表示しています。



## 簡易画面



- |  |        |  |        |
|--|--------|--|--------|
| ① 運転モード表示  | 13 ページ | ⑭ 表示   | 21 ページ |
| 運転中の状態を表示します。  |        | オン / オフタイマーまたは消忘れ防止タイマー設定が有効の時に表示します。<br>タイマー設定が集中管理中の時は  を表示します。 |        |
| ② リモコン名表示 (据付工事説明書(設定編)を参照)  |        | ⑮ 表示   | 23 ページ |
| リモコンの名前を表示します。<br>(異常猶予中は4桁のコードを表示します)   |        | 週間スケジュールタイマー設定が有効の時に表示します。   |        |
| ③ 設定温度表示   | 14 ページ | ⑯ 表示   |        |
| 設定温度を表示します。  |        | 省エネ制御中に表示します。  |        |
| ④ 時刻表示 (据付工事説明書(設定編)を参照)   |        | ⑰ 表示   | 25 ページ |
| 現在の時刻を表示します。   |        | 室外サイレントモード制御中に表示します。   |        |
| ⑤ 風速表示   | 14 ページ | ⑱ 表示   |        |
| 風速の状態を表示します。   |        | ⑲の室内温度を検知するセンサー位置がリモコンの時に表示します。<br>室内ユニットの時は  を表示します。             |        |
| ⑥ 操作ガイド  |        | ⑲ 表示   | 20 ページ |
| ファンクションボタンの機能名を表示します。  |        | 風向の状態を表示します。   |        |
| ⑦ 表示   |        | ⑳ 表示   | 20 ページ |
| 発停操作が集中管理中の時に表示します。  |        | ルーバーの状態を表示します。   |        |
| ⑧ 表示   |        | ㉑ 表示   | 20 ページ |
| 運転モード操作が集中管理中の時に表示します。   |        | 換気の状態を表示します。   |        |
| ⑨ 表示   |        | ㉒ 表示   | 26 ページ |
| 設定温度操作が集中管理中の時に表示します。  |        | 設定温度範囲制限設定が有効の時に表示します。   |        |
| ⑩ 表示   |        | ㉓ 集中管理中 表示   |        |
| フィルターリセット操作が集中管理中の時に表示します。   |        | 集中管理された項目を操作すると「集中管理中」を一定時間表示します。  |        |
| ⑪ 表示   | 37 ページ | ㉔ 表示   | 14 ページ |
| フィルターのお手入れ・ダストボックスごみ捨て時期になると表示します。<br>清掃中の時は  を表示します。 |        | 風速を切換えます。  |        |
| ⑫ 室内温度表示 (据付工事説明書(設定編)を参照)   |        |  |        |
| 現在の室内温度を表示します。   |        |  |        |
| ⑬ 表示   | 27 ページ |  |        |
| 操作ロック設定が有効の時に表示します。  |        |  |        |

基本運転(運転 / 停止、運転モード切換、風速切換、温度設定)以外はメニュー画面からの設定となります。(16 ページ参照)

# ご使用の前に

- 本製品を含む冷暖房装置の据付工事、試運転は、工事店・販売店の資格所持者が実施しております。
- 本製品をお使いいただく前に据付工事説明書をご確認ください。その際、本製品を含む冷暖房装置のシステム構成と本製品の運転手順・安全を確保するための正しい使い方についても説明を受けてください。
- 本製品の移設や修理は、販売店または専門業者に依頼してください。お客様自身では据付けないでください。(安全や機能の確保ができません。)

## 画面の流れ

[メニュー] ボタンを押すと、メインメニュー画面が表示されます。  
メインメニュー画面での操作のしかたは 16 ページを参照してください

### メイン画面 \*1

風向・ルーバー・換気設定	20 ページ参照
ハイパワー運転	-
タイマー設定	
オン/オフタイマー	21 ページ参照
消忘れ防止タイマー	22 ページ参照
週間スケジュール設定	23 ページ参照 *1
室外サイレントモード設定	25 ページ参照
制限設定	
設定温度範囲制限	26 ページ参照
操作ロック	27 ページ参照
省エネ設定	
設定温度自動復帰	28 ページ参照
省エネ運転スケジュール	29 ページ参照
フィルター情報	37 ページ参照 *1
異常情報	35 ページ参照

初期設定	
主従設定	17 ページ参照
リモコン名称設定	17 ページ参照
時刻設定	21 ページ参照
メイン画面表示設定	30 ページ参照
コントラスト調整	31 ページ参照
リモコン表示設定	18 ページ参照
自動モード設定	19 ページ参照
管理者用パスワード登録	19 ページ参照
サービス	
試運転メニュー	室内ユニットの据付工事説明書を参照ください
サービス情報登録メニュー	室内ユニットの据付工事説明書を参照ください
機能選択	31 ページ参照 *2
点検	室内ユニットの据付工事説明書を参照ください
自己診断	33 ページ参照
サービス用パスワード登録	33 ページ参照
リモコン診断	34 ページ参照
リモコン設定初期化	34 ページ参照
Q&A	36 ページ参照

室内ユニットの機種により、設定できない項目があります。

取扱説明書内のアイコンの説明

使用方法

タイマー設定



取扱説明書内にマークがある時、以下の内容を表しています。

<b>P</b>	設定を変更する場合、管理者用(またはサービス用)パスワード入力画面が表示されます。パスワードを入力してください。  <p>F1 ボタン:カーソルが左に移動します。                  F2 ボタン:カーソルが右に移動します。                  F3 ボタン:数字を1減らします。                  F4 ボタン:数字を1増やします。</p> <p>主リモコンのみ操作することができます。</p>	<b>主</b>	
<b>運</b>	運転中のみ操作することができます。	<b>停</b>	停止中のみ操作することができます。
<b>冷暖</b>	冷房・暖房・自動運転中のみ操作することができます。		操作ロック中、集中管理中に操作することができません。

使用方法・基本操作

運転・停止



操作方法

運転



[運転/停止] ボタンを押します。  
運転ランプ(緑)が点灯し、運転を開始します。

停止



もう一度 [運転/停止] ボタンを押します。  
運転ランプが消灯し、運転を停止します。

再運転内容

	リモコン設定内容
運転モード	前回運転モード
温度設定	前回設定温度
風速	前回設定風速

設定温度範囲

運転モード	設定温度範囲	
冷房	14℃～30℃	
暖房	標準	14℃～30℃
	オールフレッシュ(吸込み)	17℃～30℃
	オールフレッシュ(吹き出し)	17℃～35℃
自動	14℃～30℃	
デュアルオートモード	冷房	冷房モードの設定温度範囲(P.27参照)
	暖房	暖房モードの設定温度範囲(P.27参照)
送風・換気	設定できません。	

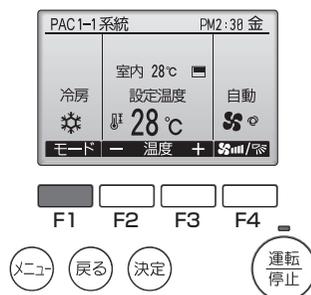
上記の設定範囲はシステムにより設定可能な温度範囲が制限される場合があります。

## 運転モード・温度設定・風速



### 運転モード設定方法

操作方法



[F1] ボタンを押すごとに「冷房」「送風」「自動」「暖房」の順に変わります。ご希望の運転に切換えます。



- 室内ユニットの機種により設定できない運転モードは表示されません。
- 室内ユニットの機種によっては、デュアルオートモードになります。ただし、運転モードの表示は「自動」です。

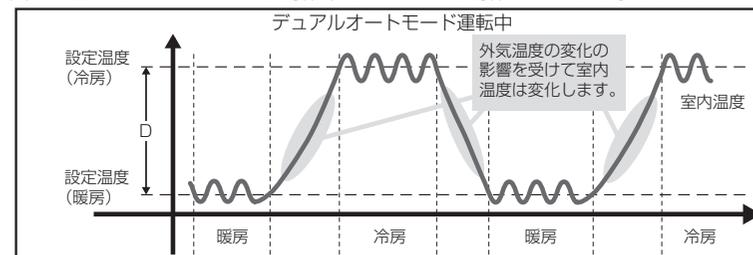
#### モード表示が点滅する場合

室外ユニットに接続された他の室内ユニットが、すでに異なる運転モードで運転している場合に表示します。他の室内ユニットの運転モードに合わせてください。後押しで異なる運転モードは設定できません。

### デュアルオートモード

デュアルオートモードでは、2値（冷房・暖房）の温度を設定でき、デュアルオートモード運転中は室内温度により室内ユニットが自動的に冷房と暖房を切換え、2つの設定温度内に室内温度を維持します。デュアルオートモードで設定された冷房と暖房の設定温度は冷房、暖房モードそれぞれ設定温度の設定に反映されます。

下図はデュアルオートモードで動作中のユニットの動作パターンを示します。

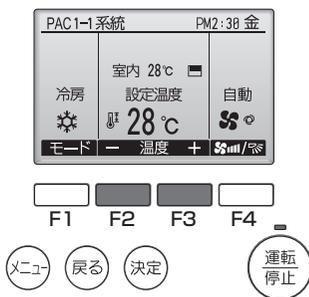


- ※ 冷房設定温度と暖房設定温度の差(D)の最小値は、機能選択(P.32 参照)により変更できます。(初期値は2℃)
- ※ オールフレッシュ機種はルームサーモ使用時のみデュアルオートモードが使用できます。
- ※ オールフレッシュ機種の吹出し温度制御使用時はデュアルオートモードは使用できません。
- ※ デュアルオートモードを選択すると、冷房・暖房時の設定可能な温度範囲が狭くなります。また、最小温度差(D)を大きくするとよりエコを意識した温度設定に制限可能ですが、設定可能な温度範囲が狭くなります。

## 温度設定方法

### 冷房、暖房、自動の場合

操作方法

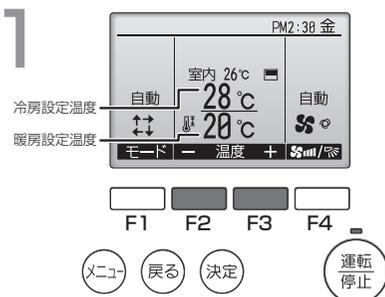


設定温度は [F2] ボタンを押すごとに下がり、  
[F3] ボタンを押すごとに上がります。

- 設定可能範囲は設定温度範囲（12 ページ）を参照ください。
- 送風・換気運転の場合は設定できません。
- 設定温度は室内ユニットの機種とリモコン表示設定により 0.5℃単位または 1℃単位で表示されます。

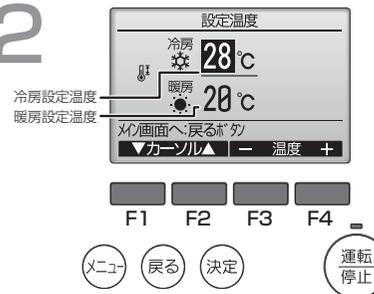
### デュアルオートモードの場合

操作方法



現在の設定温度が表示されます。  
[F2] または [F3] ボタンを押すと設定画面が表示されます。

## 2



[F1] または [F2] ボタンを押してカーソルを動かし、変更する設定温度（冷房設定温度または暖房設定温度）を選択します。  
選択された設定温度は [F3] ボタンを押すごとに設定温度が下がり、[F4] ボタンを押すごとに設定温度が上がります。

- 各モードで設定できる温度範囲は 12 ページを参照してください。
- デュアルオートモードの冷房と暖房の設定温度は冷房、暖房モードの設定温度とそれぞれ共通です。
- デュアルオートモードの冷房と暖房の設定温度は、以下の条件で設定できます。
  - ・冷房設定温度が暖房設定温度よりも高く、温度差 D が最小温度差以上（13 ページ参照）

※ 設定温度を最小温度差未満となるように操作した場合は、最小温度差を保ったままもう一方の値も変更されます。

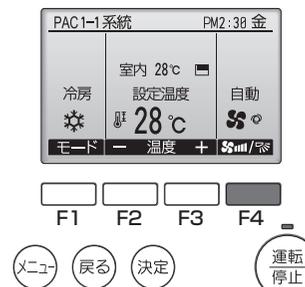
#### 画面移動方法

- 前の画面に戻る・・・[戻る] ボタン

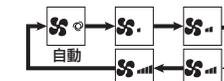
## 風速設定方法

操作方法

本機能は対応していません



風速調節は [F4] ボタンを押すごとに下記の順に変わります。ご希望の風速に切換えます。  
[F4] ボタンを1秒以上押しすと、風向設定画面に切り替わります。



- 設定できる風速は接続される室内ユニットの機種により異なります。
- 操作ロック中の時でも操作可能です。

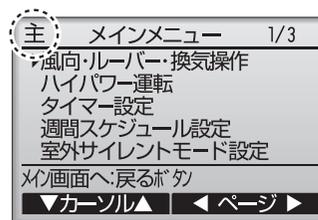
# 使用方法・メニュー操作

## メインメニュー一覧

設定および表示項目	詳細内容	参照
風向・ルーバー・換気設定	本機能対応していません。	P.20
ハイパワー運転	本機能対応していません。	—
タイマー設定	オン / オフタイマー 運転開始時刻と停止時刻を設定します。 ■ 設定時刻は 5 分単位で設定可能です。 ※時刻設定が必要です。	P.21
	消忘れ防止タイマー 運転を開始してから停止するまでの時間を設定します。 ■ 設定時間は 10 分単位で 30 ~ 240 分まで選択可能です。	P.22
週間スケジュール設定	1 週間の運転開始時刻と停止時刻を設定します。 ■ 1 日最大 8 パターンまで設定可能です。 ※時刻設定が必要です。 ※オン / オフタイマー有効中は動作しません	P.23
室外サイレントモード設定	静音性を優先して運転する時間帯を設定します。 1 週間の室外サイレントモード運転開始時刻と停止時刻を設定します。 ■ 静音レベルは「標準」「中」「静」から設定します。 ※時刻設定が必要です。	P.25
制限設定	設定温度範囲制限 設定温度の範囲を制限します。 ■ 運転モードによる温度範囲の制限が可能です。	P.26
	操作ロック 指定した操作をロックします。 ■ 操作ロック中は指定した操作が無効となります。	P.27
省エネ設定	設定温度自動復帰 設定時間後に設定した温度に戻ります。 ■ 設定時間は 10 分単位で 30 ~ 120 分まで選択可能です。 ※設定温度範囲制限が有効の時は機能しません。	P.28
	省エネ運転スケジュール 1 週間の省エネ運転開始時刻と停止時刻、能力セーブ値を設定します。 ■ 1 日最大 4 パターンまで設定可能です。 ■ 設定時刻は 5 分単位で設定可能です。 ■ 能力セーブ値は 10%単位で 90 ~ 50%、0%から選択可能です。 ※時刻設定が必要です。	P.29
フィルター情報	フィルターサイン発生状況を表示します。 ■ フィルターサインの解除を行います。	P.37
異常情報	ユニットに異常が発生した時、異常内容を表示します。 ■ 異常コード、異常発生元、M-NET アドレス、形名、製造番号、連絡先情報（販売店名、サービス店名、電話番号）を表示します。 ※形名以降はあらかじめ入力が必要です。 ■ 携帯電話点検コード検索サービスサイトのアクセス先を表示します。	P.35

設定および表示項目	詳細内容	参照
初期設定	時刻設定 現在の時刻を設定します。	P.21
	メイン画面表示設定 メイン画面の詳細表示と簡易表示の切換えを行います。 ■ デフォルト：詳細表示	P.30
	コントラスト調整 液晶の濃度の調整を行います。	P.31
	機能選択 リモコンから必要に応じ各室内ユニットの機能を設定します。	P.31
サービス	リモコン設定初期化 リモコンを出荷状態に戻します	P.34
Q&A	代表的なトラブルシューティングなどが表示されます。	P.36

## 従リモコンの制約事項



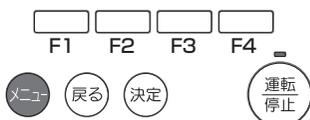
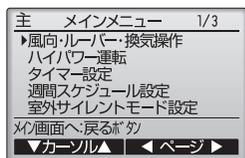
従リモコンでは以下の設定ができないので、主リモコンにて設定してください。  
主リモコンの場合、メインメニューのタイトル欄に「主」表示があります。  
■ タイマー設定（オン / オフタイマー、消忘れ防止タイマー）  
■ 週間スケジュール設定  
■ 室外サイレントモード設定  
■ 省エネ設定（設定温度自動復帰、省エネ運転スケジュール）

## メインメニュー画面での操作のしかた



操作方法

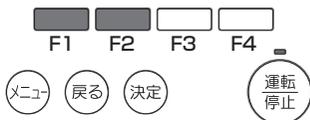
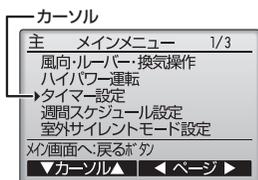
### 画面表示



[メニュー] ボタンを押します。

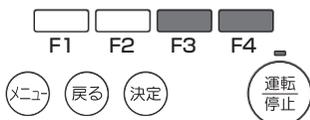
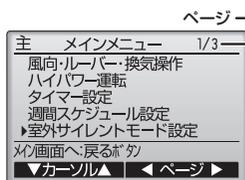
メインメニュー画面が表示されます。

### 項目選択



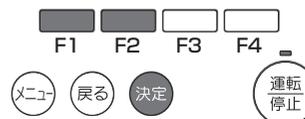
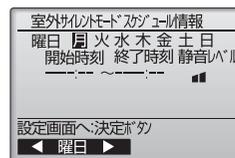
[F1] ボタンでカーソルが下がります。  
[F2] ボタンでカーソルが上がります。

### ページ移動



[F3] ボタンで前のページを表示します。  
[F4] ボタンで次のページを表示します。

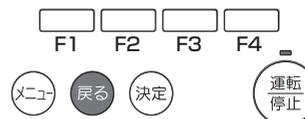
### 決定



ご希望の項目を選択し、[決定] ボタンを押します。

選択した設定画面が表示されます。

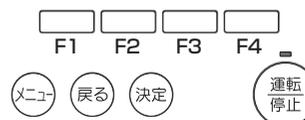
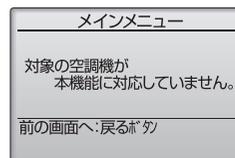
### 戻る



メインメニュー画面からメイン画面に戻るには [戻る] ボタンを押します。

各項目の設定途中で約 10 分間ボタン操作がない場合、自動でメイン画面に戻ります。  
このとき設定途中の内容は無効となります。

### 機能未対応



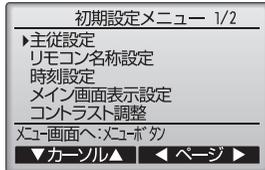
メニュー項目の選択操作を行った時、対象の室内ユニットが機能に対応していない場合、左記メッセージ画面を表示します。

# 使用方法・各種設定操作

## 初期設定



メイン画面から、「メインメニュー」→「初期設定」よりリモコン本体への各種設定をおこないます。



初期設定メニュー (1 / 2)

- ・主従設定
- ・リモコン名称設定
- ・時刻設定
- ・メイン画面表示設定
- ・コントラスト調整

初期設定メニュー (2 / 2)

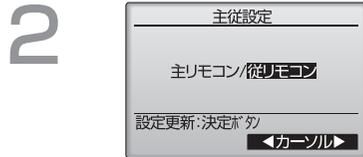
- ・リモコン表示設定
  - －時刻表示
  - －温度単位表示
  - －室内温度表示
  - －自動冷暖表示
  - －特殊表示
- ・自動モード設定
- ・管理者用パスワード登録

## 主従設定

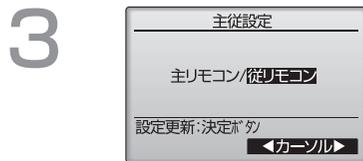
ペアリモコンを使用する時には必ず設定が必要です。ペアリモコンのうち1台を従リモコンに設定してください。

操作方法

1 [F3][F4] ボタンを操作する。  
現在選択している項目が反転表示されます。



従リモコンを選択する。



[決定]ボタンにより設定更新する。

4 設定後、[メニュー]ボタンでメインメニュー画面に戻る。  
(以降の操作も、メインメニュー画面に戻る方法は同じです)

## リモコン名称設定

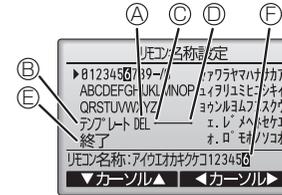


メイン画面に表示させる、リモコン名称の設定をおこないます。  
リモコン名称は半角16文字まで入力できます。(テンプレートで入力した文字は1文字あたり半角2文字分となります。)

操作方法

1 [F1]～[F4] ボタンにて文字を選択し、[決定]ボタンで1文字ずつ決定する。

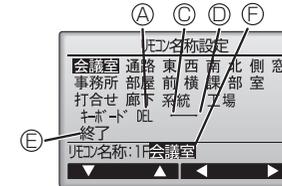
2 決定した文字を消去する場合は消去したい文字にカーソルを合わせて「DEL」(A)を選択し [決定] ボタンを押す。



3 「テンプレート」(E)を選択して [決定] ボタンを押す。  
テンプレートを選択してリモコン名称を入力できます。(テンプレートは変更できません。)

4 「←」「→」(C)を選択する。  
リモコン名称の文字入力カーソル(D)の文字が対象となり文字消去、変更ができます。

5 入力が完了したら、「終了」(E)を選択する。



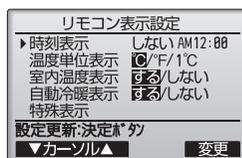
6 [決定]ボタンを押してリモコン名称を決定する。

## リモコン表示設定

リモコンの表示に関する各項目について、必要に応じ設定をおこないます。  
各項目を設定後、**[決定]** ボタンにて設定更新します。

### (1) 時刻表示 操作方法

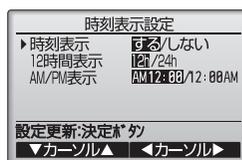
1



リモコン表示設定画面

リモコン表示設定画面の「時刻表示」にて**[F4]** (変更) ボタンを押す。  
時刻表示設定画面が表示されます。

2



**[F1]~[F4]** ボタンにより、メイン画面に表示する時刻表示の有無、時刻表示形式を選択する。

3

**[決定]** ボタンにより設定を更新する。  
(工場出荷時は「表示する / AM12:00 表示」です。)

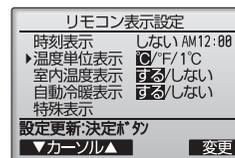
- 時刻表示 : ・ する (メイン画面に時刻表示します)  
          ・ しない (メイン画面に時刻表示しません)
- 12時間表示 : ・ 24h (24時間表示)   ・ 12h (12時間表示)
- AM/PM表示 (12時間表示の時のみ有効となります):  
          ・ AM12:00 (時刻の前に AM/PM 表示)  
          ・ 12:00AM (時刻の後に AM/PM 表示)

#### お知らせ

- 12時間表示形式、12時間/24時間表示はタイマー、スケジュールなどの設定表示にも反映されます。  
12時間表示、24時間表示それぞれの表示例は以下の通りです。  
12時間表示: AM12:00 ~ AM1:00 ~ PM12:00 ~ PM 1:00 ~ PM11:59  
24時間表示: 0:00 ~ 1:00 ~ 12:00 ~ 13:00 ~ 23:59

### (2) 温度単位表示 操作方法

1



リモコン表示設定画面の、「温度単位表示」にカーソルを合わせ、**[F3]** **[F4]** ボタンにて設定する。  
(工場出荷時は摂氏1°Cです。)

- ℃ : 温度表示単位を摂氏表示にします。  
室内ユニットの種類により表示単位を0.5°C  
または1°C単位で表示します。
- ℉ : 温度表示単位を華氏表示にします。
- 1°C : 温度表示単位を摂氏表示(1°C単位)にします。  
従リモコンの場合には本項目は表示されません。

### (3) 室内温度の温度表示 操作方法

1

リモコン表示設定画面の、「室内温度表示」にカーソルを合わせ、**[F3]** **[F4]** ボタンにて設定する。  
(工場出荷時は「する」です。)

室内温度表示 する : メイン画面 (詳細画面) に室内温度を表示します。  
                  しない : メイン画面 (詳細画面) に室内温度を表示しません。

#### お知らせ

- 「する」に設定しても簡易画面には室内温度が表示されません。

### (4) 自動冷暖表示 操作方法

1

リモコン表示設定画面の、「自動冷暖表示」にカーソルを合わせ、**[F3]** **[F4]** ボタンにて設定する。  
(工場出荷時は「する」です。)

する : 自動モード運転時、「自動冷房」または「自動暖房」が表示されます。  
しない : 自動モード運転時、「自動」のみが表示されます。

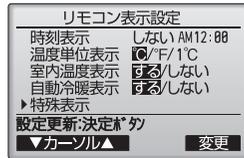
(5) 特殊表示  
操作方法



ユニットが以下の制御中は特殊表示として該当する制御名称がリモコンに表示されます。

- ・除湿 (“除湿中”を表示)
- ・デマント (“デマント”を表示)
- ・圧縮機固定 (“Comp 固定”を表示)

※ リモコンの表示、各制御の詳細については室内ユニットの取扱説明書を参照ください。



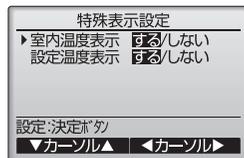
本機では、特殊表示中の吸込温度、設定温度の表示有無を設定することができます。

【操作方法】

リモコン表示設定画面で、特殊表示を選択して特殊表示設定画面を表示します。  
特殊表示(除湿、デマント、圧縮機固定表示)時の室内温度、設定温度の表示有無を設定します。

リモコンが特殊表示をしていない場合は本設定は無効となります。

[F1][F2] ボタンにて室内温度表示、設定温度表示を選択します。  
[F3][F4] ボタンにて設定します。(工場出荷は「する」です。)  
[決定] ボタンにより設定を更新します。



室内温度表示

- ・ する：特殊表示時、室内温度が表示されます。
- ・ しない：特殊表示時、室内温度が表示されません。

お知らせ

- ・ 室内温度は吸込温度と吹出温度のいずれかが表示されます。
- ・ 「する」に設定しても簡易画面には室内温度は表示されません。また、前頁(3)室内温度の温度表示にて室内温度表示「しない」を設定している場合は本設定内容によらず、室内温度は表示されません。

設定温度表示

- ・ する：特殊表示時、設定温度が表示されます。
- ・ しない：特殊表示時、設定温度が表示されません。

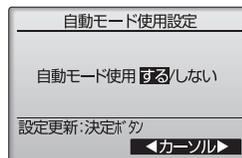
自動モード設定

操作方法

1

自動運転モード機能のある室内ユニットに接続した場合、自動モード使用、不使用を[F3][F4]ボタンにて設定する。  
(工場出荷時は使用「する」です。)

2



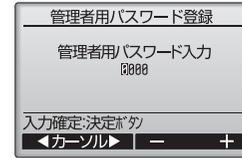
[決定]ボタンにより設定を更新する。

- する：運転モード選択時に自動モードを表示します。
- しない：運転モード選択時に自動モードを表示しません。

管理者パスワード登録

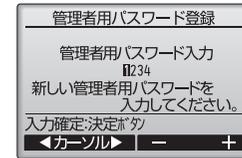
操作方法

1



最初に現在設定されている管理者用のパスワード(数字4桁)を入力する。  
[F1][F2]ボタンで桁を選択し、[F3][F4]ボタンにて0~9の数字を設定します。

2

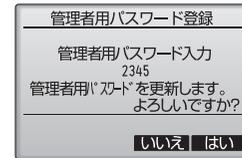


4桁のパスワードを入力後、[決定]ボタンを押す。  
パスワードが一致すると新規パスワード入力画面になります。

3

同じ要領で新しい管理者用パスワードを設定し、[決定]ボタンを押す。  
パスワード更新確認画面が表示されます。

4



[F4](はい)ボタンにて更新する。  
取り消す場合は[F3](いいえ)ボタンを押します。

お願い

- ・ 管理者用パスワードの初期値は「0000」です。管理者以外の方が設定変更しないよう、必要に応じパスワードを変更してください。
- ・ パスワードは必要な方が分かるよう適切に管理してください。

お知らせ

- ・ 管理者パスワードを忘れてしまった場合、管理者用パスワード登録画面にて[F1][F2]ボタンを同時に3秒連続押しすると、パスワードを「0000」に初期化できます。
  - ・ 管理者用パスワードは下記項目の設定時に必要となります。
    - ・ タイマー設定
    - ・ 週間スケジュール設定
    - ・ 室外サイレントモード設定
    - ・ 制限設定
    - ・ 省エネ設定
    - ・ メニュー操作ロック設定
- 各設定の詳細は本リモコンの取扱説明書を参照してください。

## 風向・ルーバー・換気設定



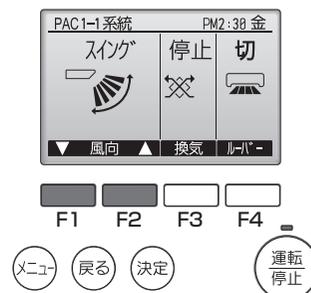
操作方法

### 画面表示



メインメニュー画面(16ページ参照)で「風向・ルーバー・換気操作」を選択し、[決定] ボタンを押します。  
メイン画面で [F4] ボタンを1秒以上押ししても同じ操作となります。

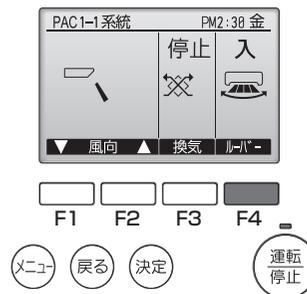
### 風向



本機能は対応しておりません。

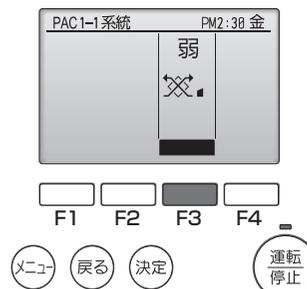


### ルーバー



本機能は対応しておりません。

### 換気



[F3] ボタンを押すごとに「停止」「弱」「強」の順に変わります。

※ 換気設定時のみ変更できます



■室内ユニットと換気装置の機種により、換気装置のみを運転した場合でも室内ユニットのファンが動作する場合があります。

### 戻る



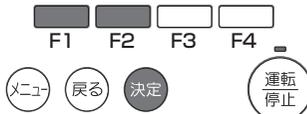
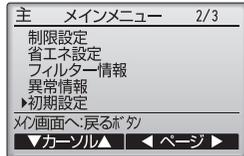
メインメニュー画面へ戻るには [戻る] ボタンを押します。

メイン画面から画面を切替えた場合は、メイン画面に戻ります。

## 時刻設定

操作方法

1

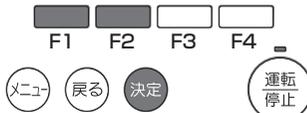
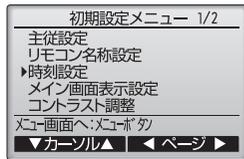


メインメニュー画面(16ページ参照)で「初期設定」を選択し、[決定] ボタンを押します。

以下の設定には時刻設定が必要です。

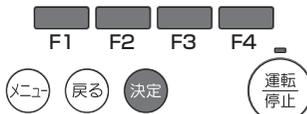
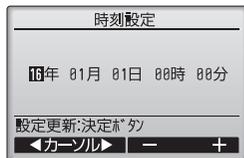
- オン/オフタイマー設定
- 週間スケジュール設定
- 室外サイレントモード設定
- 省エネ運転スケジュール

2



[F1][F2] ボタンで「時刻設定」を選択し [決定] ボタンを押します。

3



[F1][F2] ボタンで「年(西暦下二桁)」「月」「日」「時」「分」のうち、変更したい項目を選択します。

[F3][F4] ボタンで現在の日時に変更し、[決定] ボタンを押します。

設定確定画面が表示されます。

画面移動方法

- メインメニュー画面へ戻る… [メニュー] ボタン
- 前の画面に戻る… [戻る] ボタン

## タイマー設定

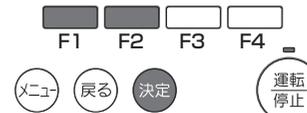
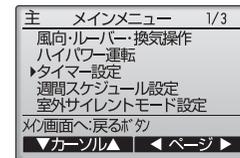


オン/オフタイマーの設定方法

毎日同じ時間に運転/停止する場合(繰返し)や、当日だけ運転/停止する場合(1回のみ)に設定します。運転/停止それぞれ1回ずつ設定できます。

操作方法

1

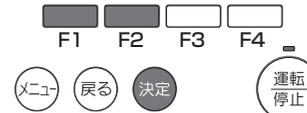
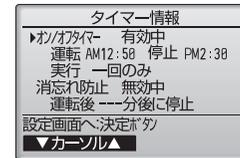


メインメニュー画面(16ページ参照)で「タイマー設定」を選択し、[決定] ボタンを押します。

以下の場合、オン/オフタイマー設定は実行されません。

オン/オフタイマー無効中/異常中/点検中(サービスメニュー内)/試運転中/リモコン診断中/時刻未設定/機能選択中/集中管理中(運転/停止またはタイマー機能が禁止の場合)

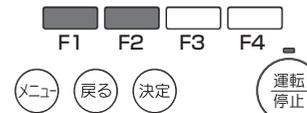
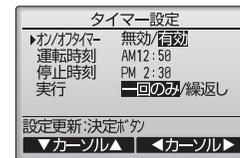
2



現在の設定状況が表示されます。

タイマー情報画面で「オン/オフタイマー」を選択し、[決定] ボタンを押します。

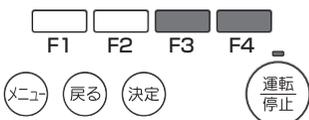
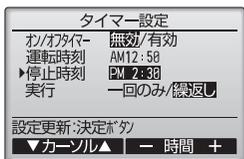
3



タイマー設定画面が表示されます。

[F1][F2] ボタンで「オン/オフタイマー」「運転時刻」「停止時刻」「実行」のうち、変更したい項目を選択します。

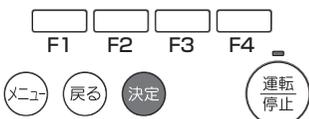
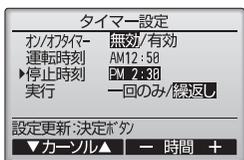
4



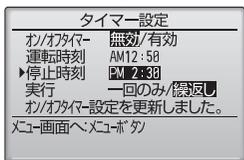
[F3][F4] ボタンでご希望の設定に切換えます。

- オン/オフタイマー 「無効」「有効」
  - 運転時刻 5分単位で設定 ※
  - 停止時刻 5分単位で設定 ※
  - 実行 「一回のみ」「繰り返し」
- ※ ボタンを押し続けると連続で数字が変わります

5



ご希望の設定に切換えた後、[決定] ボタンを押します。



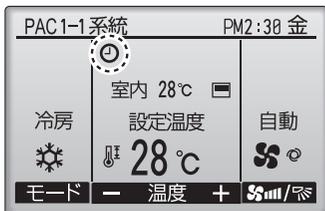
設定確定画面が表示されます。

**画面移動方法**

- メインメニュー画面へ戻る… [メニュー] ボタン
- 前の画面に戻る… [戻る] ボタン

オン/オフタイマー設定が有効の時、詳細メイン画面に「」が表示されます。

このアイコンはタイマー機能が無効中または集中管理中（タイマー機能が禁止の場合）には表示されません。

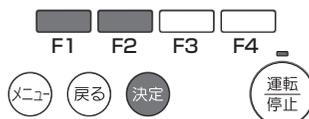
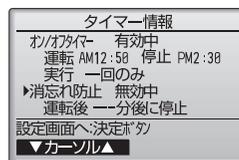


**消忘れ防止タイマーの設定方法**

設定した時間に運転を停止します。

操作方法

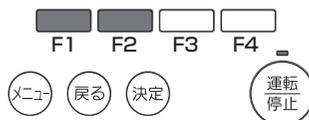
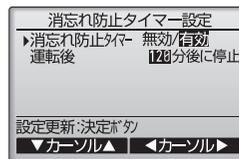
1



タイマー設定画面を表示します。  
(21 ページ参照)  
タイマー設定画面で「消忘れ防止」を選択し、**[決定]** ボタンを押します。

以下の場合、消忘れ防止タイマー運転は実行されません。  
消忘れ防止タイマー無効中/異常中/点検中（サービスメニュー内）/試運転中/リモコン診断中/機能選択中/集中管理中（運転/停止またはタイマー機能が禁止の場合）

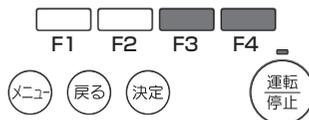
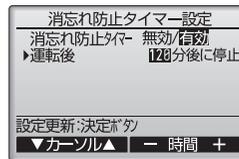
2



現在の設定状況が表示されます。

[F1][F2] ボタンで「消忘れ防止タイマー」「運転後」のうち、変更したい項目を選択します。

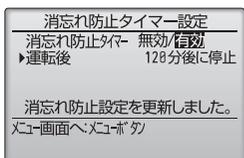
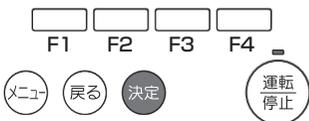
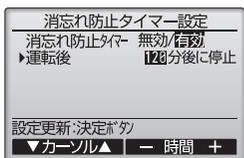
3



[F3][F4] ボタンでご希望の設定に切換えます。

- 消忘れ防止タイマー 「無効」「有効」
- 運転後 設定範囲：30～240分  
10分単位で設定

4



ご希望の設定に切換えした後、**[決定]** ボタンを押します。

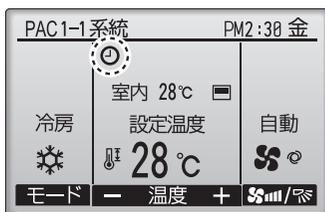
設定確定画面が表示されます。

**画面移動方法**

- メインメニュー画面へ戻る… **[メニュー]** ボタン
- 前の画面に戻る… **[戻る]** ボタン

消忘れ防止タイマー設定が有効の時、詳細メイン画面に「🕒」が表示されます。

このアイコンはタイマー機能が無効中または集中管理中（タイマー機能が禁止の場合）には表示されません。



**週間スケジュール設定**

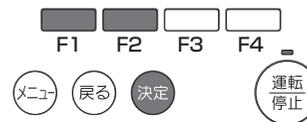
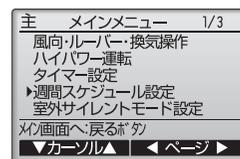
**主 P**

**機能説明**

曜日により運転スケジュールを変えたい場合、曜日ごとに運転 / 停止設定温度をスケジュール設定します。設定が重複した場合、オン / オフタイマーが優先されます。

操作方法

1



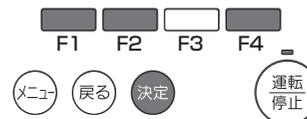
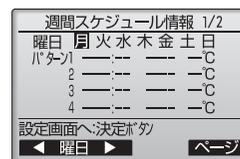
メインメニュー画面(16ページ参照)で「週間スケジュール設定」を選択し、**[決定]** ボタンを押します。

集中管理中（運転 / 停止、設定温度、運転モードが禁止の場合）でも、週間スケジュール運転は実行されますが、禁止されている設定内容は実行されません。

**以下の場合、週間スケジュール運転は実行されません。**

オン / オフタイマー有効中 / 週間スケジュール無効中 / 異常中 / 点検中（サービスメニュー内） / 試運転中 / リモコン診断中 / 時刻未設定 / 機能選択中 / 集中管理中（タイマー機能が禁止の場合）

2



現在の設定状況が表示されます。

**[F1][F2]** ボタンで月～日曜日までの設定内容が確認できます。

**[F4]** ボタンで5～8パターンを表示します。

設定画面へ進むには **[決定]** ボタンを押します。

3



スケジュール設定無効 / 有効切換え画面が表示されます。

スケジュールを有効にする場合は、[F3][F4] ボタンで「有効」を選択し、[決定] ボタンを押します。

4

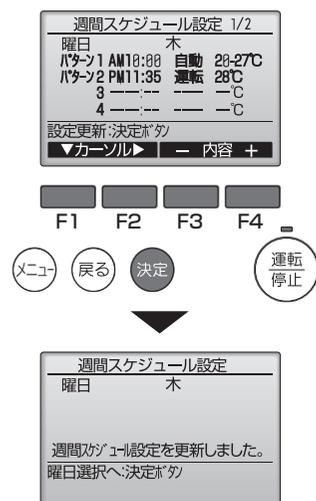


週間スケジュール設定画面が表示されます。  
現在の設定状況が表示されます。  
1日8パターンまで設定できます。

パターン設定を行う場合は、[F1][F2] ボタンで曜日を選択し、[F3] ボタンを押して設定する曜日を確定します。(曜日は複数選択できます)

ご希望の曜日に選択した後、[決定] ボタンを押します。

5



パターン設定画面が表示されます。

[F1] ボタンでパターンを選択します。

[F2] ボタンで「時刻」「運転 / 停止」「自動」「温度」を選択します。

[F3][F4] ボタンでご希望の設定に切替えます。

■時刻 5分単位で設定

※ ボタンを押し続けると連続で数字が変わります

■運転 / 停止 「運転」「停止」「自動」  
接続ユニットにより選択内容が異なります。  
(自動のパターンが実行されるとデュアルオートモードで運転します)

■温度 設定範囲: 接続される室内ユニットの  
設定可能温度範囲。(1℃単位)

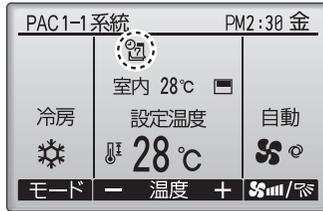
※ デュアルオートモードが選択されている場合、設定温度を2つ設定することができます。  
設定値は例: 20℃ (暖房設定温度)、27℃ (冷房設定温度) となります。  
デュアルオートモードで運転中に、デュアルオートモード以外の設定温度パターンが実行された場合、その設定温度は冷房設定温度に反映されます。

ご希望の設定に切替えた後、[決定] ボタンを押します。

設定確定画面が表示されます。

#### 画面移動方法

- 設定更新・曜日選択画面に戻る…[決定] ボタン
- メインメニュー画面へ戻る…[メニュー] ボタン
- 前の画面に戻る…[戻る] ボタン



当日実行する週間スケジュール設定があるとき、詳細メイン画面に「🗓️」が表示されます。

このアイコンはオン/オフタイマー有効中または集中管理中（タイマー機能が禁止の場合）は表示されません。

## 室外サイレントモード設定

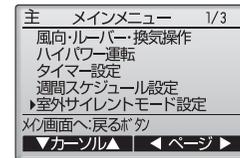


### 機能説明

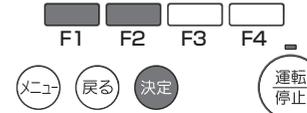
静音性を優先して運転する時間帯を設定します。1週間の室外サイレントモード運転開始時刻と停止時刻を設定します。静音レベルは「標準」「中」「静」から設定します。  
※ 室外機で室外サイレントモードを設定した場合は室外機側の設定が優先されます。

### 操作方法

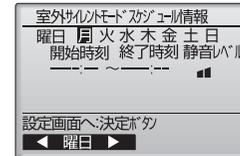
1



メインメニュー画面(16ページ参照)で「室外サイレントモード設定」を選択し、[決定] ボタンを押します。

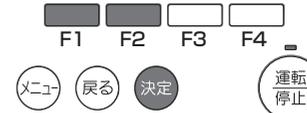


2

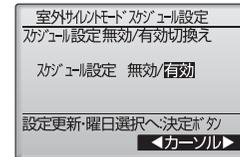


現在の設定状況が表示されます。

[F1][F2] ボタンで月～日曜日までの設定内容が確認できます。  
設定画面へ進むには [決定] ボタンを押します。

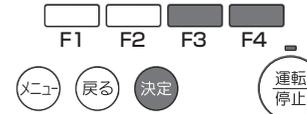


3

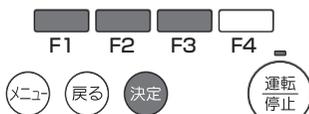
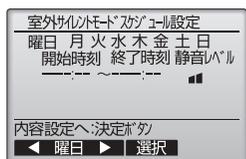


スケジュール設定無効 / 有効切換え画面が表示されます。

スケジュールを有効にする場合は、[F3][F4] ボタンで「有効」を選択し、[決定] ボタンを押します。



4

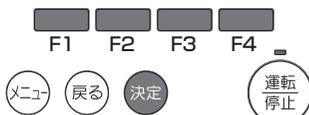
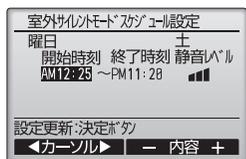


室外サイレントモード設定画面が表示されます。

内容設定を行う場合は、[F1][F2] ボタンで曜日を選択し、[F3] ボタンで設定する曜日を確認します。(曜日は複数選択できます。)

ご希望の曜日を選択した後、[決定] ボタンを押します。

5



内容設定画面が表示されます。  
[F1][F2] ボタンで「開始時刻」「終了時刻」「静音レベル」を選択します。

[F3][F4] ボタンでご希望の設定に切換えます。

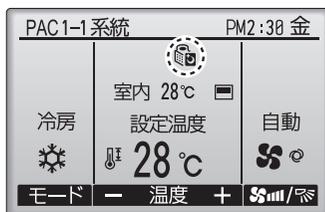
- 開始時刻 5分単位で設定  
※ ボタンを押し続けると連続で数字が変わります
- 終了時刻 5分単位で設定  
※ ボタンを押し続けると連続で数字が変わります
- 静音レベル 「標準」「中」「静」



ご希望の設定に切換えた後、[決定] ボタンを押します。設定確定画面が表示されます。

#### 画面移動方法

- 設定更新・曜日選択画面に戻る…[決定] ボタン
- メインメニュー画面へ戻る…[メニュー] ボタン
- 前の画面に戻る…[戻る] ボタン



室外サイレントモード制御中の時、詳細メイン画面に「」が表示されます。

## 制限設定

P

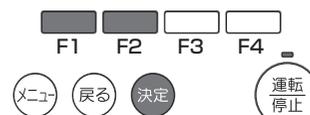
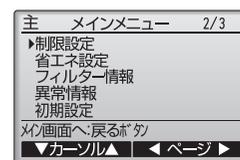
### 設定温度範囲制限の設定方法

#### 機能説明

運転モードごとに、設定温度範囲の制限ができます。

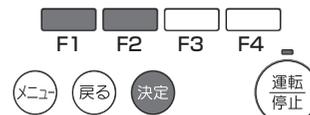
#### 操作方法

1



メインメニュー画面(16ページ参照)で「制限設定」を選択し、[決定] ボタンを押します。

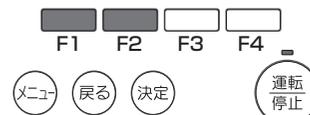
2



現在の設定状況が表示されます。

[F1][F2] ボタンで「設定温度範囲制限」を選択し [決定] ボタンを押します。

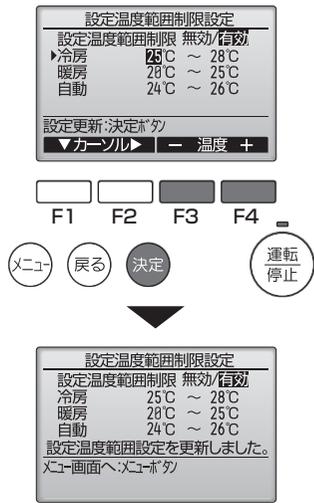
3



設定温度範囲制限設定画面が表示されます。

[F1] ボタンで「設定温度範囲制限」「冷房上下限值」「暖房上下限值」「自動上下限值」のうち、変更したい項目を選択します。

# 4



[F3][F4] ボタンでご希望の設定に切換えます。

- 設定温度範囲制限 「無効」「有効」
- 冷房上下限值 (1℃単位)
- 暖房上下限值 (1℃単位)
- 自動上下限值 (1℃単位)

設定温度範囲制限の設定範囲

モード	下限値	上限値
冷房*1*3	14 ~ 30℃	30 ~ 14℃
暖房*2*3	14 ~ 28℃	28 ~ 14℃
自動*4	14 ~ 28℃	28 ~ 14℃

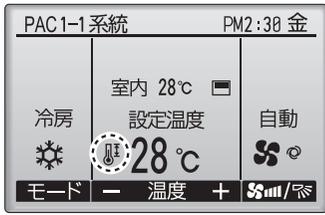
- 上記は中温機種の設定範囲になります。設定範囲は接続されるユニット（標準、中温、低温機種など）により異なります。
- \*1 冷房・デュアルオートモード〔冷房〕の設定温度を制限できます。
- \*2 暖房・デュアルオートモード〔暖房〕の設定温度を制限できます。
- \*3 冷房・デュアルオートモード〔冷房〕と暖房・デュアルオートモード〔暖房〕の設定は以下の条件で設定できます。(P.13 参照)  
冷房上限設定 - 暖房上限設定 ≥ 最小温度差  
冷房下限設定 - 暖房下限設定 ≥ 最小温度差
- \*4 自動モードの設定温度を制限できます。

ご希望の設定に切換えた後、[決定] ボタンを押します。設定確定画面が表示されます。

**画面移動方法**

- メインメニュー画面へ戻る… [メニュー] ボタン
- 前の画面に戻る… [戻る] ボタン

設定温度範囲制限設定が有効の時、詳細メイン画面に「」が表示されます。



## 操作ロックの設定方法

操作をロックするときは操作ロック設定を「有効」にしてください。

操作方法

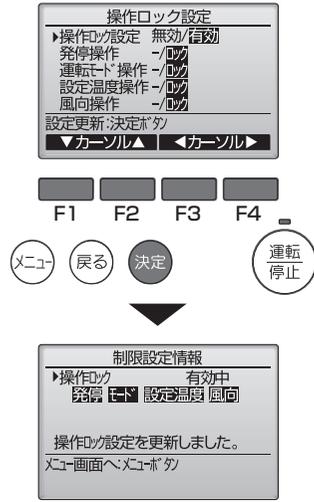
### 1



制限設定画面を表示します。(26 ページ参照)

制限設定画面で「操作ロック」を選択し、[決定] ボタンを押します。

### 2



操作ロック設定画面が表示されます。

[F1][F2] ボタンで「操作ロック設定」「発停操作」「運転モード操作」「設定温度操作」「風向操作」のうち、変更したい項目を選択します。

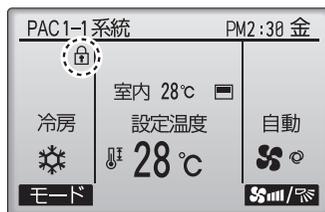
- [F3][F4] ボタンでご希望の設定に切換えます。
- 操作ロック設定 「無効」「有効」
  - 発停操作 「-」「ロック」
  - 運転モード操作 「-」「ロック」
  - 設定温度操作 「-」「ロック」
  - 風向操作 「-」「ロック」

ご希望の設定に切換えた後、[決定] ボタンを押します。

設定確定画面が表示されます。

**画面移動方法**

- メインメニュー画面へ戻る… [メニュー] ボタン
- 前の画面に戻る… [戻る] ボタン



(設定温度ロック時の画面例)

操作ロック設定が有効の時、詳細メイン画面に「」が表示されます。

操作ロックに対応する操作ガイドが表示されなくなります。

## 省エネ設定



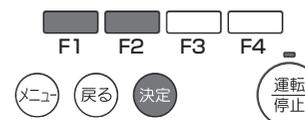
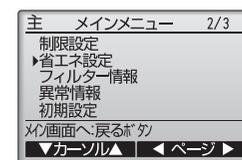
### 設定温度自動復帰の設定方法

#### 機能説明

設定時間後に設定した温度へ自動的に戻ります。

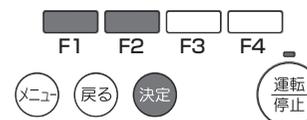
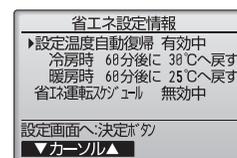
操作方法

1



メインメニュー画面(16ページ参照)で「省エネ設定」を選択し、**[決定]** ボタンを押します。

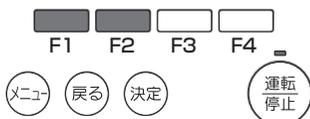
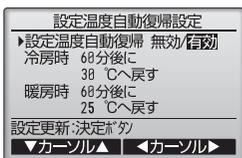
2



現在の設定状況が表示されます。

**[F1][F2]** ボタンで「設定温度自動復帰」を選択し、**[決定]** ボタンを押します。

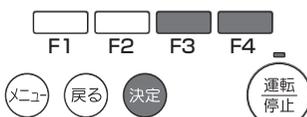
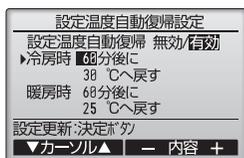
3



設定温度自動復帰設定画面が表示されます。

[F1][F2] ボタンで「設定温度自動復帰」「冷房時」「暖房時」のうち、変更したい項目を選択します。

4



[F3][F4] ボタンでご希望の設定に切替えます。

■設定温自動復帰「無効」「有効」

■冷房時  
時間の設定範囲：30分～120分（10分単位）  
温度の設定範囲：14～30℃（1℃単位）

■暖房時  
時間の設定範囲：30分～120分（10分単位）  
温度の設定範囲：17～28℃（1℃単位）

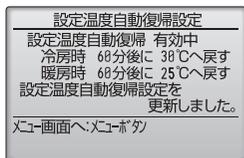
※ 上記は中温機種の設定範囲になります。  
設定範囲は接続されるユニット（標準、中温、低温機種など）により異なります。  
※「冷房時」は自動冷房、「暖房時」は自動暖房を含みます。

ご希望の設定に切替えた後、[決定] ボタンを押します。

設定画面が表示されます。

画面移動方法

- メインメニュー画面へ戻る…[メニュー] ボタン
- 前の画面に戻る…[戻る] ボタン



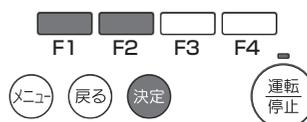
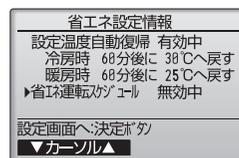
設定温度範囲制限が有効中および集中管理中（禁止中の項目が「タイマー機能、設定温度」の場合は、本設定は実行されません。

本リモコンで運転モード、運転 / 停止操作を行うと設定時間に関係なく、設定温度が戻ります。

省エネ運転スケジュールの設定方法

操作方法

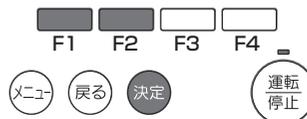
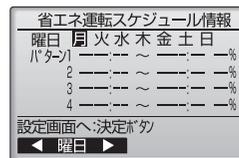
1



省エネ設定画面を表示します。  
(28 ページ参照)

省エネ設定画面で「省エネ運転スケジュール」を選択し、[決定] ボタンを押します。

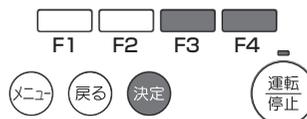
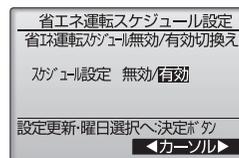
2



省エネ運転スケジュール画面が表示されます。

[F1][F2] ボタンで月～日曜日までの設定内容が確認できます。  
設定画面へ進むには [決定] ボタンを押します。

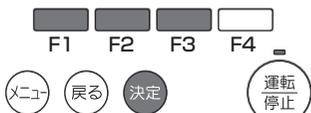
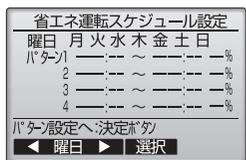
3



省エネ運転スケジュール無効 / 有効切替え画面が表示されます。

[F3][F4] ボタンで「無効」か「有効」を選択します。  
設定更新・曜日選択画面へ進むには [決定] ボタンを押します。

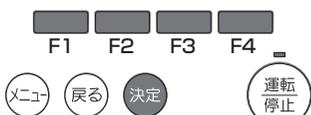
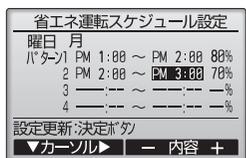
# 4



設定更新・曜日選択画面が表示されます。  
1日4パターンまで設定できます。

パターン設定を行う場合は、[F1][F2] ボタンで曜日を選択し、[F3] ボタンで設定する曜日を確定します。(曜日は複数選択できます。) パターン設定画面へ進むには [決定] ボタンを押します。

# 5

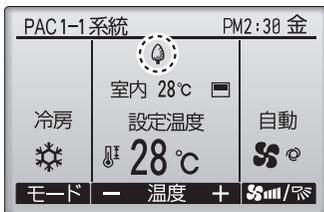


パターン設定画面が表示されます。  
[F1] ボタンでパターンを選択します。  
[F2] ボタンで左から「開始時刻」「終了時刻」「能力セーブ値」を選択します。  
[F3][F4] ボタンでご希望の設定に切換えます。  
■開始時刻 5分単位で設定 ※  
■終了時刻 5分単位で設定 ※  
■能力セーブ値 設定範囲：90～50%、0%  
10% 単位で設定  
※ ボタンを押し続けると連続で数字が変わります

ご希望の設定に切換えた後、[決定] ボタンを押します。  
設定確定画面が表示されます。

数値が低い程、省エネ効果が高くなります。

※ デマンド制御を他の機器と併用する場合はリモコンからの設定値通りに機能しない場合があります。



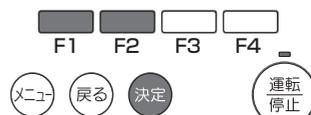
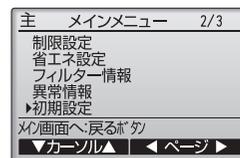
省エネ制御中は、詳細メイン画面に「」が表示されます。

**画面移動方法**  
■設定更新・曜日選択画面に戻る…[決定] ボタン  
■メインメニュー画面へ戻る…[メニュー] ボタン  
■前の画面に戻る…[戻る] ボタン

## メイン画面表示設定

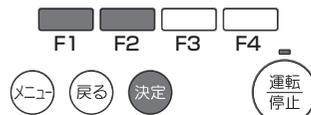
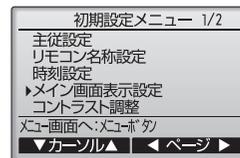
操作方法

# 1



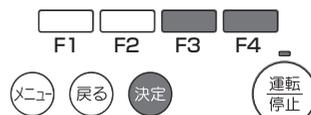
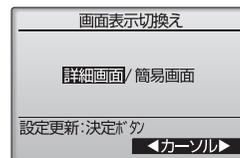
メインメニュー画面(16ページ参照)で「初期設定」を選択し、[決定] ボタンを押します。

# 2



[F1][F2] ボタンで、「メイン画面表示設定」を選択し、[決定] ボタンを押します。

# 3



[F3][F4] ボタンで「詳細画面」「簡易画面」(10ページ参照)のうちご希望の設定に切替えた後、[決定] ボタンを押します。

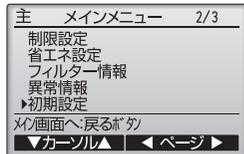
設定確定画面が表示されます。

**画面移動方法**  
■メインメニュー画面へ戻る…[メニュー] ボタン  
■前の画面に戻る…[戻る] ボタン

## コントラスト調整

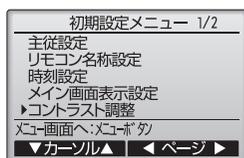
### 操作方法

1



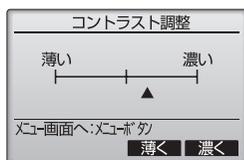
メインメニュー画面(16 ページ参照)で「初期設定」を選択し、[決定] ボタンを押します。

2



[F1][F2] ボタンで、「コントラスト調整」を選択し、[決定] ボタンを押します。

3



[F3][F4] ボタンでご希望の設定に切替えた後、[メニュー] または [戻る] ボタンを押します。

#### 画面移動方法

- メインメニュー画面へ戻る… [メニュー] ボタン
- 前の画面に戻る… [戻る] ボタン

## 機能選択



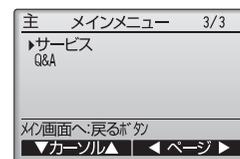
### 機能説明

リモコンから必要に応じ各室内ユニットの機能を設定します。

- 変更が必要な場合のみ設定してください。
- 室内ユニットの出荷設定内容・機能設定 No.・機能設定値についてはユニットの据付工事説明書を参照してください。
- 機能選択により室内ユニットの機能を変更した場合は、必ず全ての設定内容を紙に記録するなど、設定状態を管理してください。

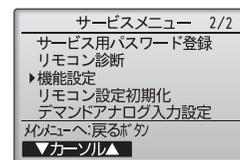
### 操作方法

1



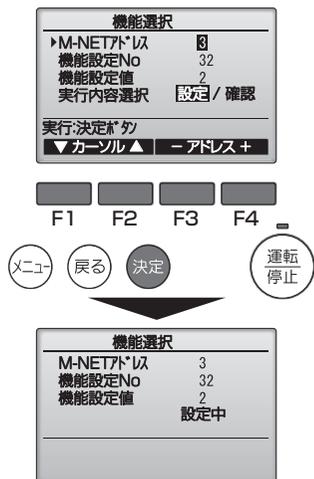
メインメニュー画面(16 ページ参照)で「サービス」を選択し、[決定] ボタンを押します。パスワード入力画面が表示されます。現在設定されているサービス用のパスワード(4桁)を入力してください。パスワード入力後、[決定] ボタンを押してください。パスワードが一致すると、サービスメニューが表示されます。

2



サービスメニュー画面で「機能選択」を選択し、[決定] ボタンを押します。

### 3



機能選択画面が表示されます。

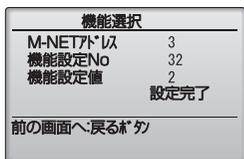
[F1][F2] ボタンで室内ユニットの「M-NET アドレス」、「機能設定 No.」、「機能設定値」を選択し、[F3][F4] ボタンでご希望の設定に切換えます。

ご希望の設定に切換えた後、[決定] ボタンを押します。

設定情報送信画面が表示されます。

現在の設定値を確認する場合は、確認したい室内ユニットの「M-NET アドレス」、「機能設定 No.」を設定し、「実行内容選択」で「確認」を選択し、[決定] ボタンを押します。確認中画面が表示され、確認が完了すると機能設定値が表示されます。

### 4



送信が完了すると設定完了画面が表示されます。

続けて設定を行う場合、[戻る] ボタンを押すと3の画面に戻ります。同様の手順で他の室内ユニット、機能設定 No. の設定を行います。

**画面移動方法**  
 ■メインメニュー画面へ戻る… [メニュー] ボタン  
 ■前の画面に戻る… [戻る] ボタン

- ※1 室内ユニット内に複数制御基板のある機種は、全ての制御基板の設定を1~4の操作により同一設定にしてください。
- ※2 室内制御基板をサービス交換した場合は、再設定が必要です。室内制御基板を交換したときは、必ず1~4の操作により設定してください。その際、交換前の設定値が必要となるため、設定値を以下の表に記入しておいてください。

機能設定No.	機能設定値	機能設定No.	機能設定値

### 機能設定一覧

	機能設定 No.	機能設定値
25	暖房サーモ OFF 時風量 暖房サーモ OFF 時の風量を設定します。 停止を選択の場合は、別売サーモを使用ください。	1: 設定風量の 50 ~ 70%風量 2: 停止 3: 設定風量
27	冷房サーモ OFF 時風量 冷房サーモ OFF 時の風量を設定します。 停止を選択の場合は、別売サーモを使用ください。	1: 設定風量の 50 ~ 70%風量 2: 停止 3: 設定風量
58	余熱排除時間 余熱排除の時間を設定します。	1: 1 分 2: 2 分 3: 3 分 5 秒 4: 4 分 5: 5 分 6: 6 分
67	自動モード種 シングル (設定温度 1 値)、デュアル (設定温度 2 値) を設定します。	1: 1 値 2: 2 値
71	余熱排除動作 実施モード 余熱排除を行うモードを設定します。	1: 暖房 2: 全モード 3: 1.5℃ 4: 2.0℃ 5: 2.5℃ 6: 3.0℃ 7: 3.5℃ 8: 4.0℃ 9: 4.5℃
72	設定温度差最小値 自動モード種においてデュアルオートモード選択時、冷房設定温度と暖房設定温度の最小差を設定します。	1: 通常設定 (個別無効) 2: 個別有効
80	運転停止個別パルス入力有効切り替え 運転停止パルス入力の入力方法 (1パルス/2パルス) を設定します。	1: 2 段階デマンド 2: 4 段階デマンド
82	4 段階デマンド切替 2 段階デマンド / 4 段階デマンドを設定します。	1: 無し 2: 有り
94	BCP 設定 BCP 設定の有効無効を設定します。	1: 無し 2: 有り
99	冷房加湿設定 冷房時の加湿器出力有無を設定します。	— 据付工事説明書参照
100	静風圧設定設定変更用パラメータ 静風圧設定を変更する場合は据付工事説明書を参照ください。	— 据付工事説明書参照
101	静風圧設定設定変更用パラメータ 静風圧設定を変更する場合は据付工事説明書を参照ください。	1: 全項目クリア実施
255	全項目クリア	

#### ■設定値の初期化方法

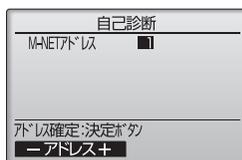
機能項目別初期化	前記設定手順に従い、初期化対象の室内機のアドレス、機能設定 No. を選択し、「機能設定値」を「15」に設定します。
全項目初期化	前記設定手順に従い、初期化対象の室内機のアドレスを選択し、機能設定 No. を「255」、「機能設定値」を「1」に設定します。全ての項目に対して、設定値を初期化します。

## 自己診断

(1) 異常履歴の検索 リモコンにて各ユニットの異常履歴を検索します。

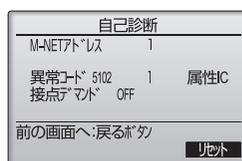
操作方法

1



サービスメニューにて「自己診断」を選択する。

2



[決定] ボタンを押す。  
自己診断画面を表示します。

3

[F1][F2] ボタンにて M-NET アドレスを設定する。

4

[決定] ボタンを押す。  
異常コード/属性/室内ユニットの接点デマンドON/OFF状態が表示されます。  
異常履歴が無い場合は、「-」が表示されます。

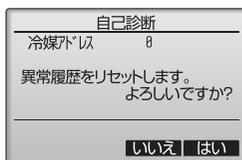
(2) 異常履歴のリセット

操作方法

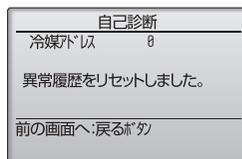
1

異常履歴表示中に[F4] (リセット) ボタンを押す。  
確認画面が表示されます。

2



確認画面にて[F4] (はい) ボタンを押す。  
室内ユニットの異常履歴を消去します。消去できなかった場合は「正常に終了できませんでした。」  
ユニットから応答が無い場合は「対象室内ユニットが存在しません。」を表示します。



## サービス用パスワード登録

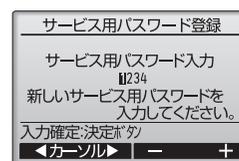
サービスメニューの操作をおこなうためのパスワードを変更します。

操作方法

1

サービスメニューにて「サービス用パスワード登録」を選択する。

2



[決定] ボタンを押す。  
新規パスワード登録画面を表示します。

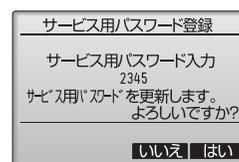
3

[F1][F2] ボタンで桁を選択する。

4

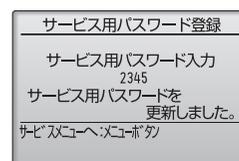
[F3][F4] ボタンにて 0～9 の数字を設定する。

5



4桁のパスワードを入力後、[決定] ボタンを押す。

6



パスワード更新確認画面が表示されます。  
更新する場合は[F4] (はい) ボタンを押す。  
取り消す場合は[F3] (いいえ) ボタンを押す。  
パスワード更新の場合は、更新完了画面が表示されます。

7

[メニュー] ボタンにてサービスメニューへまたは[戻る] ボタンで「サービス用パスワード登録画面」に戻る。

## リモコン設定初期化

本リモコンの取扱説明書を参照ください。

## リモコン診断

リモコンからの操作がきかない場合、本機能によりリモコン診断を行ってください。  
リモコン表示の有無を確認してください。(罫線含む)

- (1) リモコン表示が無い場合  
リモコンに正常な電圧(DC8.5 ~ 12V)が印加されていない場合、リモコンには何も表示されません。  
この場合は、リモコン配線、室内ユニットを点検してください。

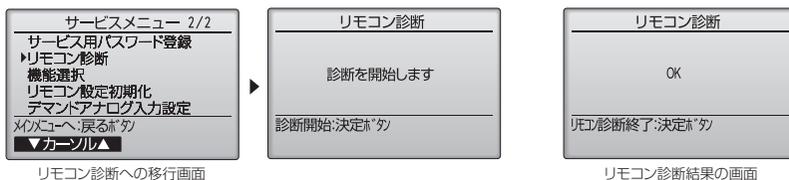
- (2) リモコン表示がある場合  
操作方法

1 サービスメニューにて「リモコン診断」を選択する。

2 **[決定]** ボタンを押す。  
リモコン診断を開始し、結果を表示します。

3 リモコン診断を行わない時は、**[メニュー]** または **[戻る]** ボタンを押す。  
リモコン診断メニューから抜けることができます。この時、リモコンは再立上げを行います。

4 リモコン診断結果表示後、**[決定]** ボタンを押す。  
リモコン診断を終了し、自動的に再立上げが行われます。



- OK : リモコンに問題はありません。他の原因を調査してください。
- 6832 : 伝送線にノイズがのっている、あるいは室内ユニット、他のリモコンの故障が考えられます。伝送路、他のコントローラを調査してください。
- NG (ALLO, ALL 1) : リモコン送受信回路不良です。リモコンの交換が必要です。
- ERC (データエラー数) : データエラー数とはリモコンの送信データのビット数と実際に伝送路に送信されたビット数の差を示します。この場合、ノイズなどの影響で送信データが乱れています。伝送路を調査してください。

## リモコン設定初期化

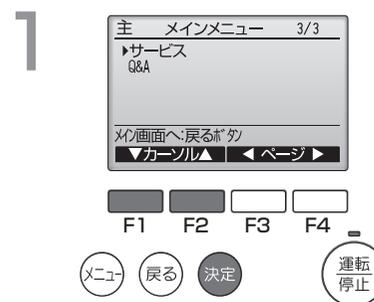
P

### 機能説明

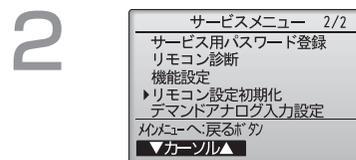
リモコンを初期化して、工場出荷状態に戻すことができます。  
下記のデータが初期化されます。  
リモコンが初期化されると、自動的に再立ち上げをおこないます。

タイマー設定/週間スケジュール設定/室外サイレントモード設定/省エネ設定/主従設定/リモコン名称/時刻設定/メイン画面表示設定/コントラスト設定/リモコン表示設定/自動モード設定/形名登録/製造 No. 登録/販売店・サービス店登録/異常情報/管理者用パスワード/サービス用パスワード

操作方法

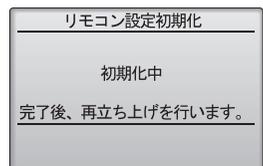
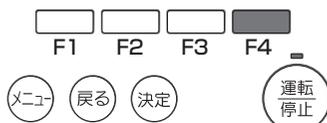
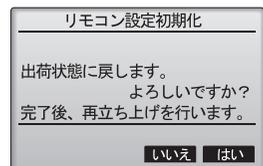


メインメニュー画面(16ページ参照)で「サービス」を選択し、**[決定]** ボタンを押します。  
パスワード入力画面が表示されます。  
現在設定されているサービス用のパスワード(4桁)を入力してください。パスワード入力後、**[決定]** ボタンを押してください。パスワードが一致すると、サービスメニューが表示されます。



サービスメニュー画面で、「リモコン設定初期化」を選択し、**[決定]** ボタンを押します。

3



[F4] ボタンで「はい」を選択します。

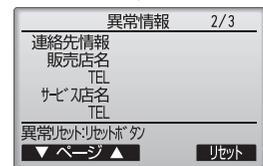
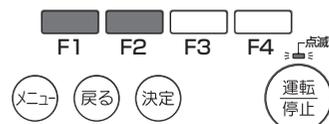
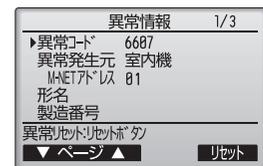
初期化を実行後、自動的に再立ち上げを行います。

## 異常情報

異常が発生した場合、以下の異常画面が表示されます。  
異常内容を確認の上、運転を停止しお買上げの販売店にご連絡ください。

操作方法

1



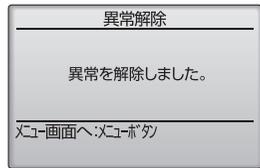
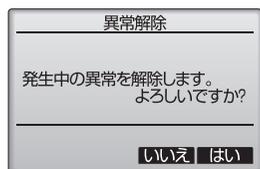
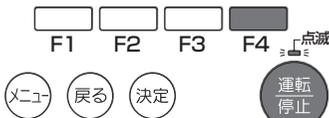
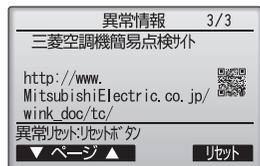
異常コード、異常発生元、M-NET アドレス、形名、製造番号が表示されます。形名、製造番号はあらかじめ手入力されている場合にのみ表示されます。

[F1][F2] ボタンで次のページを表示します。

連絡先情報（販売店名、販売店の電話番号、サービス店名、サービス店の電話番号）が表示されます。あらかじめ手入力されている場合にのみ表示されます。

携帯電話点検コード検索サービスサイトのアクセス先が表示されます。

# 2



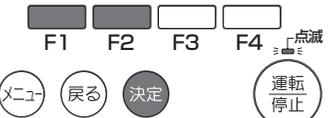
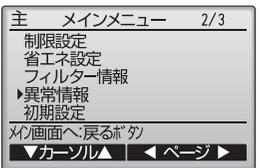
発生中の異常を解除する場合は [F4] ボタンまたは [運転/停止] ボタンを押します。

**運転 / 停止操作禁止中は異常解除できません。**

[F4] ボタンを押すと異常をリセットします。

**画面移動方法**  
 ■メインメニュー画面へ戻る… [メニュー] ボタン

# 情報確認



異常が発生していない時、メインメニュー画面 (16 ページ参照) で「異常情報」を選択すると、異常情報画面の 2/3、3/3 ページの内容 (35 ページ参照) を確認することができます。異常リセットはできません。

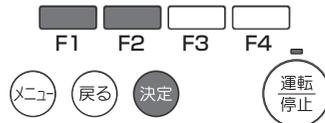
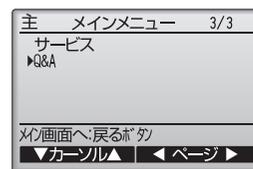
## Q&A

下記のような Q&A を見ることができます。

- 代表的なトラブルシューティング
- 通常画面に表示されるアイコンの意味

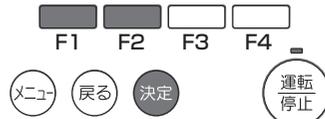
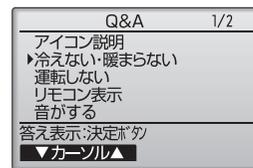
操作方法

# 1

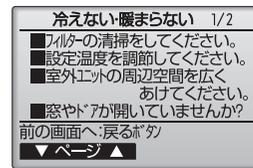


メインメニュー画面 (16 ページ参照) で「Q&A」を選択し、[決定] ボタンを押します。

# 2



[F1][F2] ボタンにて状況を選択し [決定] ボタンを押します。

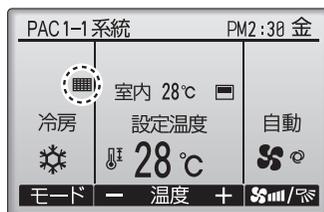


選択した状況に対する、対応方法が表示されます。項目により複数のページがある場合は、[F1][F2] ボタンでページを切替えます。

**画面移動方法**  
 ■メインメニュー画面へ戻る… [メニュー] ボタン  
 ■前の画面に戻る… [戻る] ボタン

# お手入れ

## フィルター情報・フィルターサイン解除

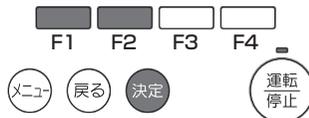
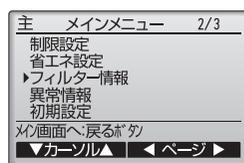


フィルターのお手入れ時期になると、詳細メイン画面に「」が表示されます。

フィルターの洗浄・清掃・交換を行ってください。詳しくは室内ユニットの取扱説明書をご覧ください。

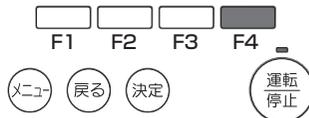
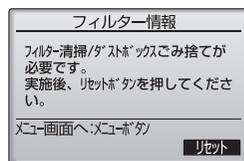
操作方法

1



メインメニュー画面(16ページ参照)で「フィルター情報」を選択し、[決定] ボタンを押します。

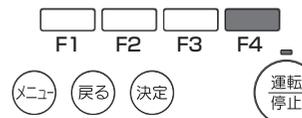
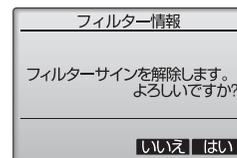
2



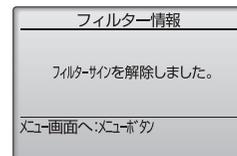
フィルター情報をリセットする場合は [F4] ボタンを押します。

フィルター清掃のしかた、ダストボックスごみ捨てのしかたについては室内ユニットの取扱説明書をご覧ください。

3



[F4] ボタンで「はい」を選択します。



設定確定画面が表示されます。

### 画面移動方法

- メインメニュー画面へ戻る…[メニュー] ボタン
- 前の画面に戻る…[戻る] ボタン



詳細メイン画面に「」が表示されるときは、集中管理中のためフィルターサインを解除することはできません。

- 2台以上の室内ユニットが接続されている場合、フィルターの種類によって清掃時期が異なる場合があります。
- 「」表示は、代表機種(親機)の清掃時期に表示されますので、フィルターサインの解除を行うと全ての積算時間がリセットされます。
- 「」表示は、一般的な室内での空気条件で使用した場合の清掃時期を目安に表示しているものです。環境条件によって、汚れの程度が異なりますので、汚れ具合に応じて清掃してください。
- フィルター清掃時期の積算時間は、機種により異なります。

# 「故障かな？」と思ったら

No.	現象	原因の確認	対処方法
1	リモコンの表示部に下図が表示しない。 	電源が入っているか確認してください。	電源を入れてください。表示部に下図が表示されます。 
2	[運転/停止] ボタンを押したのに運転しない。点灯したリモコンの運転表示が消える。	電源が入っているか確認してください。	電源を入れてください。
3	リモコン表示部に "集中管理中" の表示がでる。	他のコントローラまたは室内ユニットから操作が禁止されていないか確認してください。	"集中管理中" の表示点灯中はリモコンでの操作が禁止となっています。
4	[運転/停止] ボタンを押さないのに動きだした。(または停止した。)	タイマーをリモコンで設定していないか確認してください。 他のコントローラまたは室内ユニットから操作されていないか確認してください。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タイマー運転をしていませんか？ 運転・停止ボタンを押して停止してください。</li> <li>・遠方コントロールが接続されていないか？ 運転を指示したところへ連絡・確認してください。</li> <li>・"集中管理中" の表示が点灯していませんか？ 運転を指示したところへ連絡・確認してください。</li> <li>・停電自動復帰を設定していませんか？ 運転・停止ボタンを押して停止してください。</li> </ul>
5	リモコンのタイマー運転がセットできない。	リモコン設定を確認してください。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タイマー設定が無効になっていませんか？ タイマー設定がセット可能なときは、簡易タイマー、消忘れ防止タイマーのどちらかが表示されています。</li> </ul>
6	リモコンに "PLEASE WAIT" の表示がでる。	電源投入直後か確認をしてください。	・初期設定 (約 2 分) を行っているためです。

No.	現象	原因の確認	対処方法
7	リモコンにエラーコードが表示される。	保護機能が作動しているか確認してください。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護機能が作動してエアコンを保護しています。</li> <li>※ 自分では絶対に修理しないでください。</li> <li>室内ユニットの電源を切り、お買い上げ販売店に製品名・リモコン表示内容を連絡してください。</li> </ul>

以上のことをお調べになって、それでも不具合があるときは使用を中止し、必ず電源を切ってから、お買い上げの販売店、またはメーカー指定のお客様相談窓口（別添）にご連絡ください。

---

## 3-2. その他の操作について

### 3-2-1. 長期間使用しないとき

#### [1] 運転停止の方法

##### 手順

1. 4～5時間、送風運転してエアコン内部を乾燥させる。
  - ・不衛生な「カビ」などが発生して室内に飛散し体調悪化や健康を損なう原因となることがあります。
2. 室内・室外ユニットの電源を切る。

#### [2] 再度使い始めるとき

下記手順1～4の点検を行い、異常のないことを確認後、電源を入れてください。  
・エアコンの電源を「入」にしてから12時間以上経過後、運転を開始してください。

##### 手順

1. フィルターを清掃して、取付ける。
2. 室内・室外ユニットの吹出口・吸込口がふさがれていないことを確認する。
3. アース線が外れていないことを確認する。  
室内ユニットにも取付けてある場合があります。据付工事説明書を確認し対応してください。

##### お願い

- ・アース線をガス管・水道管・避雷針・電話アース線に接続しないでください。アース工事に不備があると、感電の原因になります。アース工事を行う場合は販売店にご相談ください。
4. ドレンホースの折曲がり、先端の持ち上がり、詰まりなどが無いことを確認する。
  5. 運転開始の12時間以上前から必ずエアコンの電源を「入」にする。

### 3-2-2. データモニタリング機能

- 作業の手間を大幅に削減します。
- 室内に居ながら室外・内ユニットの運転データをリモコンで確認可能です。

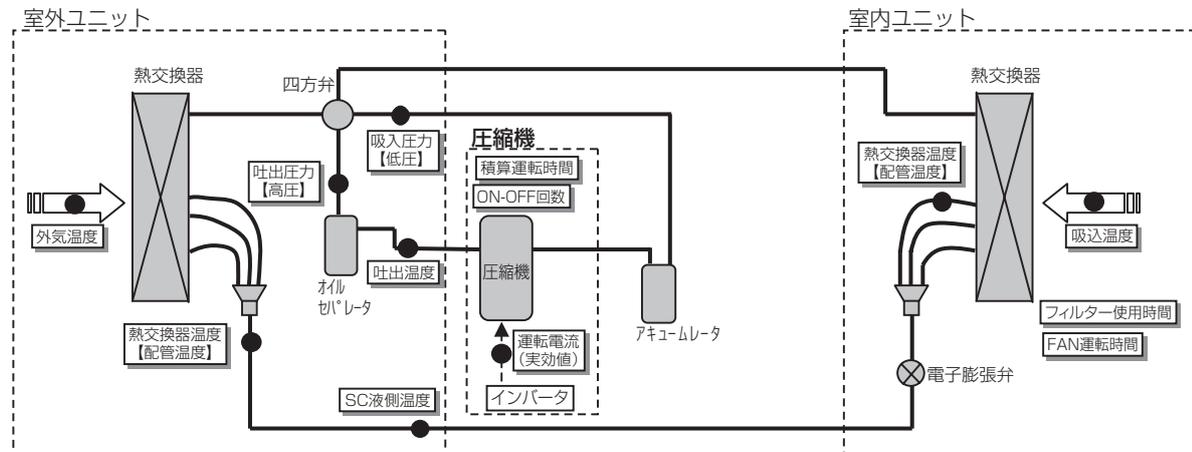
#### メンテナンス情報

圧縮機	積算運転時間 ※ 3
	ON-OFF 回数 ※ 2
	運転電流
室外ユニット	熱交換器温度【配管温度】
	外気温度
	吐出圧力【高圧】
	吸入圧力【低圧】
	吐出温度
	SC液側温度 ※ 4

室内ユニット	熱交換器温度【配管温度】
	吸込温度※ 1
	フィルター使用時間
	FAN 運転時間※ 3

- ※ 1 オールフレッシュタイプの「吹出温度制御」時は、「吹出温度」を検知し表示します。  
(表示項目は「吸込温度」のまま表示されます。)
- ※ 2 圧縮機 ON-OFF 回数は 100 回単位でデータ更新します。  
例：実際の圧縮機 ON-OFF 回数が 99 回の場合、リモコン表示は 0 回となり、101 回の場合、リモコン表示は 100 回となります。
- ※ 3 圧縮機積算時間、FAN 運転時間は、10 時間単位でデータ更新します。  
例：実際の運転時間が 9 時間の場合リモコン表示は 0 時間となり、11 時間の場合リモコン表示は 10 時間となります。
- ※ 4 DMJ タイプの機種では、SC 液側温度サーミスターがないため、SC 液側温度は「未対応」と表示されます。

#### メンテナンス情報イメージ



#### 運転時間積算利用時の注意事項

- 端数の取扱い  
 通電が停止するとカウントされる前の端数（FAN 運転時間は 1 ～ 9 時間、圧縮機積算運転時間、フィルター使用時間は 1 ～ 59 分）は 0 に戻ります。  
 運転時間積算を利用する時は、通電したままにしてください。  
 なお、通電が停止してもすでにカウントされた積算時間（FAN 運転時間は 10 時間単位以上、圧縮機積算運転時間、フィルター使用時間は 1 時間単位以上）は保持されます。
- フィルター使用時間  
 “フィルター清掃”表示設定時は MA リモコン操作により使用時間がリセットできます。  
 非表示設定時はリセットできません。

### 3-2-3. メンテナンスモード操作

データモニタリング機能を使用する時は室外・室内ユニットのパネルを外さないでください。  
(ユニットが運転した場合ケガをするおそれがあります。)

#### [1] メンテナンスモードへの切換えについて

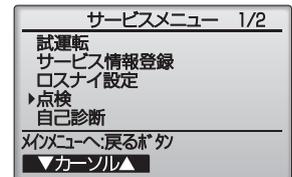
メンテナンスモードには、運転中にのみ切換えしてください。

- ユニット停止中・点検中はメンテナンスモードへ切換えしないでください。
- 試運転中は入れません。
- リモコン従設定の場合は、メンテナンスモードには入れません。
- 集中管理中はメンテナンスモードには入れません。

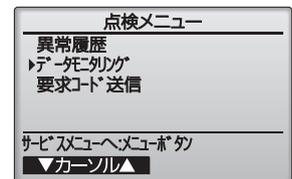
#### [2] 操作方法

##### 手順

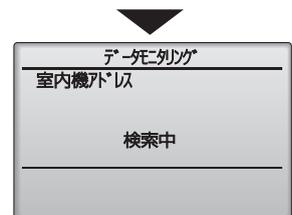
1. サービスメニュー画面で、[F1][F2] ボタンを操作して「点検」を選択し、[決定] ボタンを押す。



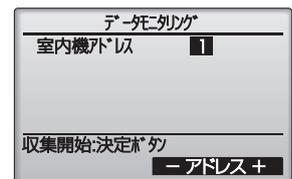
2. 点検メニュー画面に移行し、[F1][F2] ボタンを操作して「データモニタリング」を選択し、[決定] ボタンを押す。



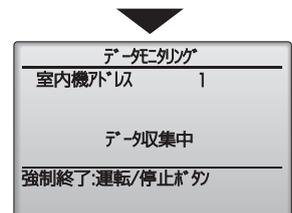
データモニタリング画面に移行し、MA リモコンに接続された室内ユニット（制御基板）の最小アドレスを検索し、アドレスが表示されます。



3. [F3][F4] ボタンを操作して室内ユニット（制御基板）アドレスを選定し、[決定] ボタンを押す。

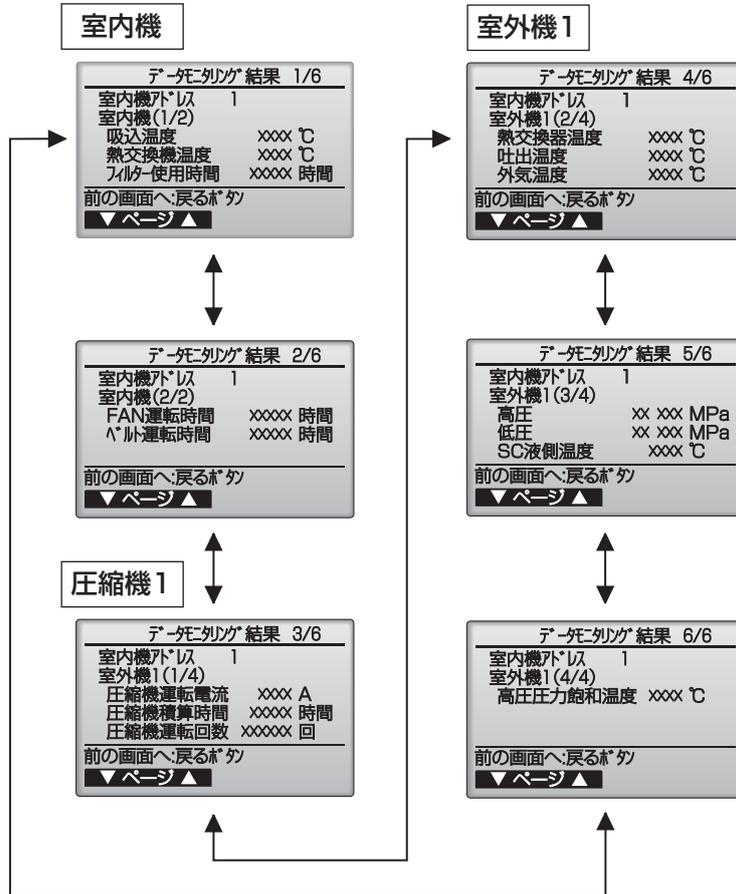


データの収集が開始され、約 5 分後データ収集が完了します。収集されるデータは、手順 3 で選択したアドレスの室内ユニット（制御基板）情報およびこの室内ユニットと同一冷媒系に接続された室外ユニットの情報になります。



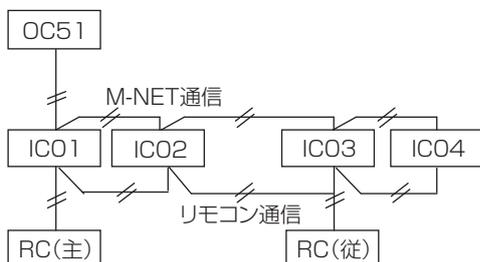
4. [F1][F2] ボタンを操作して、各ユニットの情報を表示する。

- [F1][F2] ボタン操作により画面が遷移します。
- 圧縮機の運転電流はインバータから圧縮機への電流の実効値になります。
- 室外ユニットが DMJ タイプの機種では、SC 液側温度サーミスターがないため、SC 液側温度は「未対応」と表示されます。
- 本機種は室外ユニット 2 (OS1)、室外ユニット 3 (OS2) が接続されておりませんので、室内機、圧縮機 1、室外機 1 の内容のみ表示されます。



5. データモニタリングを解除する場合は、[メニュー] または [戻る] ボタンを押す。

操作例



室外ユニット、圧縮機のデータをモニタリングする場合、必ず各室外ユニットに接続されている (M-NET 通信線) 室内ユニットアドレスを選定してください。

上記システムの室外ユニット (OC51) の情報をモニターする場合

- 室内ユニットアドレス **01** を設定します。

モニターする各ユニットの表示は下記となります。

- 室内機 = IC01
- 室外機 1 = OC51
- 圧縮機 1 = OC51

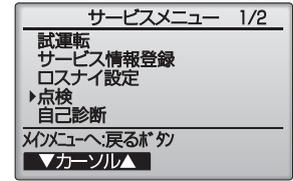
- 室内ユニットアドレス **04** 設定時。  
モニターする各ユニットの表示は下記となります。

- 室内機 = IC04
- 室外機 1 = OC51
- 圧縮機 1 = OC51

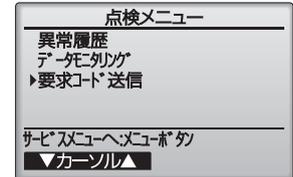
### [3] データを個別にモニタしたい場合

#### 手順

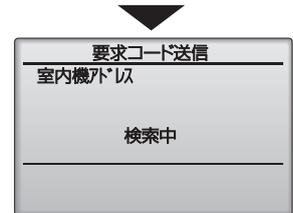
1. サービスメニュー画面で、[F1][F2] ボタンを操作して「点検」を選択し、[決定] ボタンを押す。



2. 点検メニュー画面で、[F1][F2] ボタンを操作して「要求コード送信」を選択し、[決定] ボタンを押す。

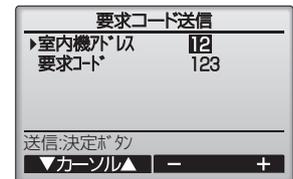


要求コード送信画面に遷移し、MA リモコンが接続された室内ユニット（制御基板）の最小アドレスを検索し、アドレスが表示されます。

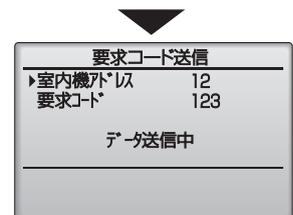


3. [F1][F2][F3][F4] ボタンを操作し、下表からモニタしたいユニット情報の項目の要求コードを設定し、[決定] ボタンを押す。

データモニタ先	モニタ項目	要求コード	表示単位
圧縮機 1	運転電流	1	A
	積算運転時間	2	hr
	ON-OFF 回数	3	回
室外機 1	吐出温度	4	℃
	外気温度	9	℃
	吐出圧力【高圧】	50	MPa
	吸込圧力【低圧】	51	MPa
	熱交換器温度【配管温度】	52	℃
	SC 液側温度	84	℃
	高圧圧力飽和温度	97	℃



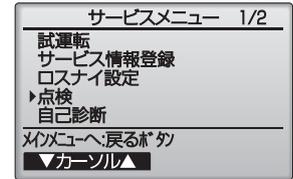
データの収集が始まり、約 10～20 秒後にモニタしたデータが表示されます。



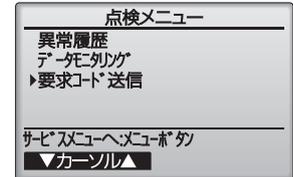
## [4] ファン運転時間をリセットする場合

### 手順

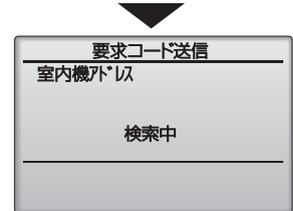
1. サービスメニュー画面で、[F1][F2] ボタンを操作して「点検」を選択し、[決定] ボタンを押す。



2. 点検メニュー画面で、[F1][F2] ボタンを操作して「要求コード送信」を選択し、[決定] ボタンを押す。



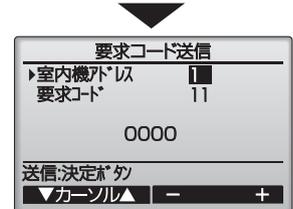
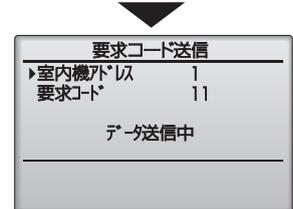
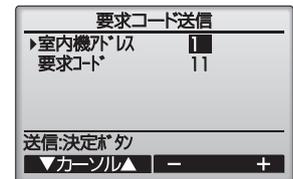
要求コード送信画面に遷移し、MA リモコンが接続された室内ユニット（制御基板）の最小アドレスを検索し、アドレスが表示されます。



3. [F1][F2][F3][F4] ボタンを操作し、リセットしたい室内ユニット（制御基板）のアドレス、および下表からリセットしたい情報の要求コードを設定し、[決定] ボタンを押す。

データモニタ先	設定項目	要求コード	表示単位
室内機	FAN モーター運転時間リセット	11	-

データがリセットされます。



## 4. お手入れ

### ⚠ 警告

掃除・整備・点検をする場合、運転を停止して、主電源を切ること。

- けが・感電のおそれあり。
- ファン・回転機器により、けがのおそれあり。



### ⚠ 注意

部品端面・ファンや熱交換器のフィン表面を素手で触れないこと。

- けがのおそれあり。



- 安全のためにお手入れの前には必ず電源を「切」にしてから行ってください。  
室内ユニット電源「切」にした後、室外ユニット電源を「切」にしてください。

### [1] エアフィルターの清掃

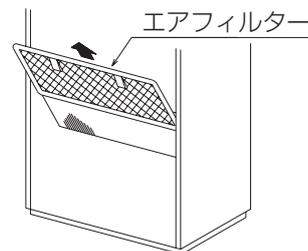
エアフィルターにゴミがたまると、冷暖房能力の低下や故障の原因になります。

#### (1) フィルター取外し方法

手袋等の保護具を着用し、作業を行ってください。

##### 手順

1. 吸込パネル上部のねじ（2カ所）を外し、吸込パネルを手前に引いて開ける。
  2. 右図に従ってフィルターを取外す。
- ※ 吸込パネルを開けた際、板金エッジ部、電子式リア膨張弁コイル、温度センサー部、リモコンコネクター部に手が触れないようにしてください。



#### (2) フィルターの洗浄

フィルターは定期的に洗浄してください。  
(使用環境にもよりますが、1回/週～月が目安です。)

- ※ 定期メンテナンスをおこたるとフィルターが目詰まりし、通過面が変形して昇降不良の原因となりますので注意してください。

また洗浄時もフィルターを押さえている網を変形させないでください。

取外したフィルターのホコリを掃除機で吸取るか、水洗いしてください。  
汚れがひどい場合は、ぬるま湯もしくは中性洗剤を混ぜた水に浸け、汚れを落としてください。  
すすぎは十分に行い、洗剤が残らないようにしてください。

水洗いしたときは日陰でよく乾かしてください。

(直射日光や直接火に当てて乾かさないうでください。変形・変色することがあります。)

- ※ フィルターを変形させたり、フィルター枠、網等でケガをしないよう十分注意し取扱ってください。

#### (3) その他

オイルミスト雰囲気でご使用の場合、オイルパンに付着したオイルが硬化し、オイルドレン口を塞ぐおそれがありますので、使用状況に応じ点検および清掃を行ってください。

アフターサービス契約のおすすめ

- ※ 当社指定のサービス会社と保守契約（有料）いただければ、専門のサービスマンがお客様に代わって保守点検をいたします。万一の故障時も早期に発見し適切な処置を行うことができます。

## [2] パネルの清掃

中性洗剤を柔らかい布にふくませて拭き、最後に乾いた布で洗剤が残らないよう拭き取ります。



### お願い

- ・ベンジン・シンナーの使用は避けてください。



## [3] 熱交換器の洗浄

長期間エアコンを使用しますと、エアコンの熱交換器の場合にはホコリなどが付着し、熱交換が悪くなって冷房能力が低下します。

洗浄方法についてはお買い上げの販売店にご相談ください。

## [4] ユニット内部品のお手入れ

加湿器を組込んでご使用される場合、水質や使用条件によってはユニット内部の金属製部品が錆びることがありますので、加湿シーズン前後に確認し、錆がある場合はお買い上げの販売店もしくは保守点検契約を結んでいるサービス会社にご相談ください。

## [5] モーターの交換

### 手順

1. 前下パネルを取外す。(ツマミねじ：2本)
2. リモコンの中継コネクタを外し、前上パネルを取外す。(座付ねじ：2本)
3. ベルマウス(左・右)を取外す。(座付ねじ：各4本)  
ベルマウス(右)は、モーターシャフトにぶら下がった状態にする。
4. ケーシング(前)を取外す。(座付ねじ：8本)
5. モーター配線を取外す。  
モーターの端子箱を開け、それぞれの配線を端子台から取り外し、端子箱から抜き取る。
6. モーター台の固定ねじを取外す。(座付ねじ：7本 (ねじ位置は正面2本、左側面3本、下側2本))
7. モーター台とモーター、シロッコファンは組立てた状態でユニットから取外す。(図1)
8. モーターからファンを取外しモーターを交換した後、7の状態まで組立てる。ファンのセットねじは仮止めする。(図2)
9. 組立てたモーターセットをユニットに取付ける。  
(※ モーターシャフトのDカット2カ所とファンセットねじ2カ所を合わせる)
10. ファンをケーシング中央になるよう位置を調整した後、ファンのセットねじを固定する。
11. 取外した部品をそれぞれ元通り組立てる。

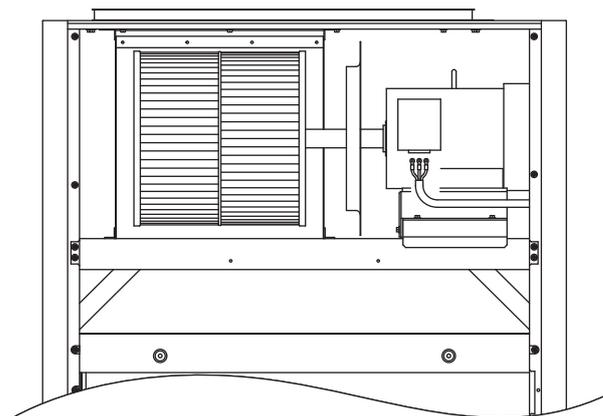


図1

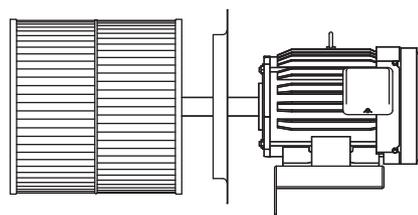


図2

## 5. 定期点検のお願い

本製品は、長期間の使用に伴い、製品を構成する部品に生ずる経年劣化などにより、安全上支障が生じるおそれがあります。

本製品を良好な状態で長く安心してご利用いただくために、サービス会社と保守契約を結び、定期的に点検することをお勧めします。

当社指定のサービス会社と保守契約（有料）いただければ、専門のサービスマンがお客様に代わって保守点検をいたします。万一の故障時も早期に発見し、適切な処理を行います。

点検のご依頼・ご相談は、別添の「三菱電機 修理窓口・ご相談窓口のご案内」にご連絡ください。

### JRA\* GL-14「冷凍空調機器の冷媒漏えい防止ガイドライン」に基づく冷媒漏えい点検のお願い

本製品を所有されているお客様に、製品の性能を維持して頂くために、また、冷媒フロン類を適切に管理して頂くために、定期的な冷媒漏えい点検（保守契約などによる、遠隔からの冷媒漏えいの確認などの、総合的なサービスも含む）（いずれも有償）をお願いいたします。

定期的な漏えい点検では、漏えい点検資格者によって「漏えい点検記録簿」へ、機器を設置した時から廃棄する時までの全ての点検記録が記載されますので、お客様による記載内容の確認とその管理（管理委託を含む）をお願いいたします。

なお、詳細は下記のサイトをご覧ください。\*JRA: 社団法人 日本冷凍空調工業会

・ JRA GL-14 について、<http://jraia.or.jp/info/gl-14/index.html>

・ フロン漏えい点検制度について、<http://www.jarac.or.jp>



## 6. 修理を依頼する前に

以下のことをお調べになって、それでも不具合があるときは使用を中止し、必ず電源スイッチを切ってください。故障の状況と表示部の英数字を、お買上げの販売店（工事店）にご連絡ください。

現象	原因の確認	処置方法
よく冷えない。 よく暖まらない。	フィルターが汚れ、目詰まりして風量が低下しています。	フィルターの清掃をしてください。
	設定温度が高くまたは低くなっています。	温度調節を確認して、設定温度を調節してください。
	室内ユニットの吹出し口・吸込み口が塞がれています。	室内ユニット周囲空間を広く開けてください。
	窓やドアが開いています。	窓やドアを閉めてください。 オールフレッシュタイプ以外の空調機が停止していないか確認してください。オールフレッシュだけでは室内温度を一定にできません。
暖房運転中、設定温度になっていないが運転が止まる。	外気温度が低く、湿度が高いときに室外ユニットに霜が付きます。この霜を溶かしています。	そのまま約7分（最大12分）ほどお待ちください。
水の流れるような音や時々“プシュ”と音がする。	エアコン内部の冷媒が流れている音や、冷媒の流れが切替わるときの音です。異常ではありません。	もし気になるような音の場合は、お買上げ販売店にご相談ください。
“ピシッ、ピシッ”という音がする。	温度変化で部品などが膨張・収縮して、こすれる音です。異常ではありません。	もし気になるような音の場合は、お買上げ販売店にご相談ください。
室内ユニットより白い霧状の水蒸気が出る。	室内の温湿度が高い場合、運転の始めにこのような現象が起こる場合があります。異常ではありません。	—
	霜取運転時、冷気が下りてきて霧状に見えることがあります。	—
室外ユニットより水・水蒸気が出る。	冷房時に冷えた配管や配管接続部に水滴がつき滴下するためです。	—
	暖房時に熱交換器についた水が滴下するためです。	—
	霜取時に熱交換器についた水が蒸発し、水蒸気が出る場合があります。	—
リモコンの運転表示が点灯しない。	電源が入っていないことが考えられます。	電源をご確認ください。 ユニットの電源が入っていないと、リモコン表示が点灯しません。
再運転のために停止後すぐに【 <b>運転・停止</b> 】ボタンを押したが、すぐに運転を再開しない。	エアコンを保護するため、マイコンの指示で止まっています。	再運転をした場合は、運転するまで約3分間お待ちください。
リモコン表示部に“集中管理中”の表示が出ている。	集中コントローラー等で、操作を制限されている場合に表示します。	—
	運転操作設定を遠方（外部）入力にしている場合に表示します。	—
リモコンの運転表示が点灯するが、室外ユニットが運転しない。	室内ユニット、もしくは室外ユニットへデマンド入力されている場合、室外ユニットが運転しません。	—

現象	原因の確認	処置方法
[ 運転・停止 ] ボタンを押さないのに、勝手に動き出した。	入タイマー運転をしています。	[ 運転・停止 ] ボタンを押して停止してください。
	外部入力信号にて ON 操作した場合に運転を開始します。	—
	集中コントローラー等で、操作されています。	—
	電源発停機能が設定されています。	電源発停機能を使用しない場合は、お買い上げ販売店にご相談ください。
	停電自動復帰が設定されています。	[ 運転・停止 ] ボタンを押して停止してください。 停電自動復帰機能を使用しない場合は、お買い上げ販売店にご相談ください。
[ 運転・停止 ] ボタンを押さないのに、勝手に停止した。	切タイマー運転をしています。	[ 運転・停止 ] ボタンを押して運転を再開してください。
	外部入力信号にて OFF 操作した場合に運転を停止します。	—
	集中コントローラー等で、操作されています。	—
[ 運転・停止 ] ボタンを押したのに停止しない。	暖房運転中に停止ボタンを押されると、余熱排除のため約 1 分間、室内ファンが回ることがあります。	—
	ペーパーパン加湿器を組込んだ場合、水蒸気発生防止のため約 3 分間、室内ファンが回ることがあります。	
	室内ユニットの設定によっては、余熱排除のため、運転停止後約 3 分間室内ファンが回ることがあります。さらに別売ペーパーパン加湿器を組込んだ場合は、最大約 6 分間室内ファンが回ることがあります。	
リモコンのタイマー運転がセットできない。	タイマー設定が無効となっています。	タイマー設定を有効にしてください。
		スケジュールタイマーが接続されている場合は、スケジュールタイマーでセットしてください。
リモコンに“PLEASE WAIT”の表示が出る。	初期設定（約 2 分）を行っているためです。	そのままお待ちください。
リモコンにエラーコードが表示される。	自己診断機能が作動してエアコンを保護しています。	自分では絶対に修理しないでください。 エアコンの電源を切り、お買い上げ販売店に製品名・リモコン表示内容を連絡してください。
ワイヤレスリモコンの表示がでない、薄い、受光部に近付けないと受信しない。	乾電池が消耗しています。	乾電池を交換し、[ リセット ] ボタンを押してください。 新しい乾電池でも表示の出ない場合は、乾電池の入れ方（+、-）を再度確認してください。
ワイヤレスリモコン受光部の運転表示灯が点滅する。	自己診断機能が作動してエアコンを保護しています。	自分では絶対に修理しないでください。 エアコンの電源を切り、お買い上げ販売店に製品名を連絡してください。

現象	原因の確認	処置方法
風が寒い、暑い。	オールフレッシュタイプの場合、サーモ OFF すると、外気が直接室内に吹出します。不快に感じる場合は、設定温度をサーモ OFF し難いように変更してください。 改善されない場合は、お買い上げ販売店にご相談ください。	—
暖房運転にしたとき、すぐに風がでない。	十分に暖かな風をおとどけするための準備中です。 リモコンに“暖房準備中”が表示されます。そのままお待ちください。	—

# 7. 保証とアフターサービス

## 7-1. 保証について

- 保証書は、必ず「お買上げ日（据付日または試運転完了日）・販売店名（工事店名）」などの記入をお確かめのうえ、販売店からお受け取りください。  
内容をよくお読みになったあと、大切に保管してください。
- 保証期間は、お買上げ日から1年です。  
保証期間でも有償となる場合がありますので、保証書をよくお読みください。
- 製品本体の故障もしくは不具合より発生した、付随的損害の責については、ご容赦ください。

### 7-1-1. 保証できない範囲

保証期間内でも次の場合には有料修理になります。

- ご使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障および損傷。
- お買上げ後の取付場所の移動、落下などによる故障および損傷。
- 火災、地震、風水害、落雷その他の天災地変、公害や異常電圧による故障および損傷。
- 保証書のご提示がない場合。
- 保証書にお客様名、据付日、販売店名の記入がない場合あるいは字句を書き替えられた場合。
- 車輻、船舶などに搭載された場合生じる故障および損傷。
- 据付工事による故障および損傷。
- 室内のフィルター詰まり、ドレンパン詰まり等による故障および損傷。

## 7-2. 補修用性能部品の保有期間

- 当社は、この製品の補修用性能部品を製造打切後9年保有しています。  
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。  
この基準により、補修用性能部品を調達したうえ修理によって性能を維持できる場合は、お客様のご要望により有償修理を実施いたします。

## 7-3. 修理について

- 修理を依頼されるときは、「6. 修理を依頼する前に」の項にしたがってお調べください。（49 ページ参照）
- 不具合があるときは、電源スイッチを切り、必ず元電源を遮断してから、お買上げの販売店（工事店・指定のサービス店かお近くの「三菱電機 修理窓口・ご相談窓口のご案内」（別紙））にご連絡ください。
- 保証期間中は、修理に際しまして、保証書をご提示ください。保証書の規程にしたがって、販売店（工事店）が修理させていただきます。
- なお、離島および離島に準じる遠隔地への出張修理を行った場合には、出張に要する実費を申し受けます。
- 保証期間が過ぎているときは、修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。点検・診断のみでも有料となることがあります。
- 修理料金は、技術料+部品代+出張料などで構成されています。

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金
部品代	修理に使用した部品代金
出張料	製品のある場所へ技術員を派遣する料金

- 必要に応じて据付（接続・調整・取扱説明など）依頼すると有料になることがあります。

- ご連絡いただきたい内容（出張修理対象商品）

品名	取扱説明書の表紙に記載
形名	取扱説明書の表紙に記載
お買い上げ日	保証書発行の年月日：       年   月   日
故障の状況	「できるだけ具体的に」
ご住所	「付近の目印なども」
お名前	
電話番号	
訪問希望日	

- この製品は、日本国内用に設計されていますので、国外では使用できません。また、アフターサービスもできません。This appliance is designed for use in Japan only and the contents in this document cannot be applied in any other country. No servicing is available outside of Japan.

## 7-4. 移設について

- 増改築・引越しのため、製品を取外し、再据付けをする場合は、移設のための専門の技術や工事の費用が別途必要になります。事前に、お買い上げの販売店、または指定のサービス店、またはメーカー指定のお客さま相談窓口（別添）にご相談ください。

## 7-5. お問い合わせ

- ご不明な点や修理に関するご相談は、お買い上げの販売店（工事店・指定のサービス店）かお近くの「三菱電機 修理窓口・ご相談窓口のご案内」（別紙）にご相談ください。  
（所在地、電話番号などについては変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。）

### お問い合わせ窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

三菱電機株式会社は、お客様からご提供いただきました個人情報は、下記のとおり、お取り扱いします。

- お問い合わせ（ご依頼）いただいた修理・保守・工事および製品のお取り扱いに関連してお客様よりご提供いただいた個人情報は、本目的ならびに製品品質・サービス品質の改善、製品情報のお知らせに利用します。
- 上記利用目的のために、お問い合わせ（ご依頼）内容に記録を残すことがあります。
- あらかじめお客様からご了承をいただいている場合および下記の場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を提供・開示することはありません。
  - ①上記利用目的のために、弊社グループ会社・協力会社などに業務委託する場合。
  - ②法令等の定める規定に基づく場合。
- 個人情報に関するご相談は、お問い合わせをいただきました窓口にご連絡ください。

## 8. 環境関連の表示

ユニットを廃棄される時は、フロン排出抑制法で冷媒の回収が定められています。お買い上げの販売店、またはメーカー指定のサービス店、またはお客様相談窓口にご相談ください。

**この製品はフロン排出抑制法・第一種特定製品です。**

- ・ フロン類をみだりに大気中に放出することは禁じられています。
- ・ この製品を廃棄する場合には、フロン類の回収が必要です。必ず専門の回収業者に依頼してください。

- 1)この製品は、地球温暖化防止のために、適正にフロン類を回収する必要があります。
- 2)本ユニットが接続されている室外ユニットや接続室内ユニット台数、配管長等により異なります。  
システム全体での数値は、室外ユニットに表示されています。



この表示は、パッケージエアコンに温暖化ガス（フロン類）が封入されていることをご認識していただくための表示です。エアコンの取外し時は、フロン類の回収が必要です。  
冷媒の種類及び GWP（地球温暖化係数）は下表になります。

種類	冷媒番号	GWP
HFC	R410A	2090

# 9. 法令関連の表示

## 9-1. 機器予防保全の目安

保証期間を示しているものではありませんのでご注意ください。

主要部品名	点検周期	保全周期 [交換または修理]
圧縮機	1年	20,000時間
モーター（ファン、ルーバー、ドレンポンプ用など）		20,000時間
電子基板類		25,000時間
熱交換器		5年
容器（アキュムレータなど）		20,000時間
膨張弁		20,000時間
バルブ（電磁弁、四方弁など）		20,000時間
センサー（サーミスター、圧力センサーなど）		5年
ドレンパン		8年
アクティブフィルター（AF基板,RF基板,ACファン）※ <sup>1</sup>		4年

※<sup>1</sup> 製品の運転時間が10時間/日、2500時間/年よりも長くなる場合のみ対象とします。

- ・ 本表は主要部品を示します。詳細は保守点検契約に基づいて確認してください。
- ・ この保全周期は、製品を長く安心してご使用いただくために、保全行為が生じるまでの目安期間を示していますので、適切な保全設計（保守点検費用の予算化など）のためにお役立てください。また保守点検契約の契約内容によっては本表よりも、点検・保全周期が短い場合があります。
- ・ 保守点検の内容は契約会社によって若干異なる場合がありますので、契約時によくお確かめください。
- ・ 定期点検実施の場合でも予期できない突発的偶発故障が発生する事があります。この場合、保証期間外での故障修理は有償扱いとなります。
- ・ 電気部品に絶対に水（洗浄水等）をかけないでください。感電、発煙、発火の原因になります。

上表は次の使用条件が前提となります。

- ・ 頻繁な発停のない、通常のご使用状態であること。  
（機種により異なりますが、通常のご使用における発停の回数は、6回/時間以下を目安としています。）
- ・ 製品の運転時間は、10時間/日、2500時間/年と仮定しています。

また、下記の項目に適合する時には、「保全周期」および「交換周期」の短縮を考慮する必要があります。

- ・ 温度・湿度の高い場所、あるいはその変化の激しい場所でご使用される場合。
- ・ 電源変動（電圧、周波数、波形歪みなど）が大きい場所でご使用される場合（許容範囲外での使用はできません。）
- ・ 振動、衝撃が多い場所に設置され、ご使用される場合。
- ・ 塵埃、塩分、亜硫酸ガスおよび硫化水素などの有害ガス・オイルミスト等良くない雰囲気でご使用される場合。
- ・ 頻繁な発停のある場所、運転時間の長い場所。（24時間空調など）

## 9-2. 消耗部品の点検周期目安

保証期間を示しているものではありませんのでご注意ください。

主要部品名	点検周期	交換周期
ロングライフフィルター	1年	5年※ <sup>1</sup>
高性能フィルター		1年※ <sup>1</sup>
ヒューズ		10年

※<sup>1</sup> 使用環境、じんあい量などによって異なりますので早い時期での確認をお願いします。

- ・ 本表は主要部品を示します。詳細は保守点検契約に基づいて確認してください。
- ・ この保全周期は、製品を長く安心してご使用いただくために、交換行為が生じるまでの目安期間を示していますので、適切な保全設計（部品交換費用の予算化など）のためにお役立てください。
- ・ 保守点検の内容は契約会社によって若干異なる場合がありますので、契約時によくお確かめください。

# 10. 仕様

## (1) 標準仕様

50/60Hz

項目	形名	PFHV-P224DMJ		PFHV-P280DMJ		
		室内ユニット	室外ユニット	室内ユニット	室外ユニット	
		PFAV-P224DMJ	PUHV-P224DMJ	PFAV-P280DMJ	PUHV-P280DMJ	
電源		三相 200V 50/60Hz				
冷房能力 (最大)	(kW)	20.0 (22.4)		25.0 (28.0)		
冷房消費電力	(kW)	5.63/5.63		6.98/6.98		
暖房能力 (最大)	(kW)	22.4 (25.0)		28.0 (31.5)		
暖房消費電力	(kW)	6.27/6.27		7.81/7.81		
通年エネルギー消費効率 (APF2006)		4.8		4.8		
区分名		ap		ap		
外形寸法 *3	高さ	(mm)	1750	1650	1750	1650
	幅	(mm)	980	920	980	920
	奥行	(mm)	485	740	485	740
風量 *3		(m <sup>3</sup> /min)	65	165	90	185
騒音値(PWL)(dB(A 特性値)) *2	冷房		68	76.5	76	80.5
	暖房					
製品質量 *3		(kg)	161	169	172	180

- ※ 1 上記仕様値は標準条件での値です。風量機外静圧を変更しますと、能力、騒音値も変化します。
- ※ 2 上表の騒音値は、JRA4065：2013「パッケージエアコンディショナーの音響パワーレベル試験方法」に基づいた値です。
- ※ 3 外形寸法・風量・製品質量は一台あたりの値を示します。
- ※ 4 能力欄の ( ) 内は最大値を示します。

### 区分名

室内機の種類	冷房能力	区分名
ダクト形	20.0kW 未満	a o
	20.0kW 以上 28.0kW 以下	a p

上表は、エネルギーの使用の合理化に関する法律に基づく経済産業省告示第 213 号 (平成 21 年) による区分名を示す。

## (2) オールフレッシュ仕様

50/60Hz

項目	形名	PFHV-P265DMJ-F		PFHV-P335DMJ-F		
		室内ユニット	室外ユニット	室内ユニット	室外ユニット	
		PFAV-P265DMJ-F	PUHV-P224DMJ	PFAV-P335DMJ-F	PUHV-P280DMJ	
電源		三相 200V 50/60Hz				
冷房能力 (最大)	(kW)	22.4 (26.5)		28.0 (33.5)		
暖房能力 (最大)	(kW)	20.0 (22.4)		26.5 (28.0)		
外形寸法 *3	高さ	(mm)	1750	1650	1750	1650
	幅	(mm)	980	920	980	920
	奥行	(mm)	485	740	485	740
風量 *3		(m <sup>3</sup> /min)	35	165	45	185
騒音値(PWL)(dB(A 特性値)) *2	冷房		54	76.5	62	80.5
	暖房					
製品質量 *3		(kg)	163	169	174	180

- ※ 1 上記仕様値は標準条件での値です。風量機外静圧を変更しますと、能力、騒音値も変化します。
- ※ 2 上表の騒音値は、JRA4065：2013「パッケージエアコンディショナーの音響パワーレベル試験方法」に基づいた値です。
- ※ 3 外形寸法・風量・製品質量は一台あたりの値を示します。
- ※ 4 能力欄の ( ) 内は最大値を示します。

# 11. 別売部品

パッケージエアコンには、多様な使い方に対応していただけるように、専用の別売部品を用意しています。

## (1) 標準タイプ

### ・ 補助電気ヒーター

ユニット内に組込んで、配線工事をすることで暖房運転補助を行います。

### ・ 加湿器（ペーパーパン式）

暖房のときは室内の湿度が下がります。健康のためにも、家具や調度品などの乾きすぎをさけるためにも、適度な加湿が必要です。加湿器を組込むことにより室内を適度な湿度に保ち、理想的な暖房運転ができます。冷房運転での加湿はできません。

### ・ その他

圧力計・遠方表示キット・遠方操作キットなど、豊富な別売部品を用意しています。

（上記別売部品は、機種により組込みできない場合があります。詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください。）

## (2) オールフレッシュタイプ

### ・ 加湿器（ペーパーパン式）

暖房のときは室内の湿度が下がります。健康のためにも、家具や調度品などの乾きすぎをさけるためにも、適度な加湿が必要です。加湿器を組込むことにより室内を適度な湿度に保ち、理想的な暖房運転ができます。冷房運転での加湿はできません。

### ・ その他

圧力計・遠方表示キット・遠方操作キットなど、豊富な別売部品を用意しています。

（上記別売部品は、機種により組込みできない場合があります。詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください。）

便利メモ	お買上げ販売店名
	電話番号

ご不明な点がございましたらお客様相談窓口（別添）にお問い合わせください。

## 三菱電機冷熱相談センター

0037-80-2224(フリーボイス)/073-427-2224(携帯電話対応)

FAX(365日・24時間受付)

0037(80)2229(フリーボイス)・073(428)-2229(通常FAX)

# 三菱電機株式会社

冷熱システム製作所 〒640-8686 和歌山市手平6-5-66

WT08175X02